

圏域別フェイスシート（案）

（令和 5 年度版）

県央保健医療圏

【県央保健医療圏】（令和5年度版）

【埼玉県の基本データ】 <2020年> 令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年(2020年)10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計) 国立社会保障・人口問題研究所 <出生数、死亡数> 令和4年人口動態調査 埼玉県各市町村別将来人口推計ツール(埼玉県統計課)			
	2020年	2025年推計	2040年推計
人口総数	7,344,765人	7,316,411人	6,952,930人
人口増減率	2015→2020 1.1%	2020→2025 ▲0.4%	2025→2040 ▲5.0%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	872,859人(11.9%)	807,027人(11.0%)	713,621人(10.3%)
15～64歳	4,488,130人(61.1%)	4,472,309人(61.1%)	3,923,681人(56.4%)
65歳～ (うち75歳～)	1,983,776人(27.0%) (994,346人(13.5%))	2,037,075人(27.9%) (1,210,504人(16.5%))	2,315,628人(33.3%) (1,259,186人(18.1%))
出生数(前5年計)	(2015～2020年)265,140人	(2020～2025年)245,078人	(2035～2040年)233,354人
死亡数(前5年計)	(2015～2020年)335,423人	(2020～2025年)404,491人	(2035～2040年)534,459人
保健所			
市町村			

【県央圏域の基本データ】 <2020年> 令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年(2020年)10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計) 国立社会保障・人口問題研究所 <出生数、死亡数> 令和4年人口動態調査 埼玉県各市町村別将来人口推計ツール(埼玉県統計課)			
	2020年	2025年推計	2040年推計
人口総数	528,558人	521,819人	478,864人
人口増減率	2015→2020 ▲0.1%	2020→2025 ▲1.3%	2025→2040 ▲8.2%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	61,255人(11.6%)	54,960人(10.5%)	46,057人(9.6%)
15～64歳	313,914人(59.4%)	308,744人(59.2%)	258,083人(53.9%)
65歳～ (うち75歳～)	153,389人(29.0%) (77,428人(14.6%))	158,115人(30.3%) (94,926人(18.2%))	174,724人(36.5%) (96,398人(20.1%))
出生数(前5年計)	(2015～2020年)17,150人	(2020～2025年)15,479人	(2035～2040年)13,435人
死亡数(前5年計)	(2015～2020年)23,983人	(2020～2025年)29,671人	(2035～2040年)40,984人
保健所	鴻巣保健所		
市町村	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町		

地域医療提供体制の推進に係る課題

◆ 医療機能分化・連携

- ・高度急性期を担える医療機関に限られる一方で、急性期を脱した患者の受け皿（回復期リハビリテーション病床・地域包括ケア病床）が不足し、新たな救急患者の受入れを行うことが困難となっている。
- ・人口10万人当りの回復期リハビリテーション病床・地域包括ケア病床の病床数が、それぞれ県平均を下回っている。
- ・高度急性期、急性期が満たすべき要件を明確にし、適切な病床機能の配分を行うなど、医療提供体制の確保を図る必要がある。

→【課題解消の取組結果】

- ① 令和4年度に実施された病院整備計画の公募により、17床（急性期8床、回復期9床）が整備された。
- ② 令和5年度に実施された病院整備計画の公募により、8床（急性期）が整備されることが決まった。
- ③ 病床機能の転換（回復期30床⇒急性期30床）が行われた。

◆ 救急医療

- ・小児初期救急は、小児科の開業医が少ないため、小児科以外の開業医も担っているが、患者家族のニーズとして専門医志向が強い。その結果、初期救急で対応可能な患者が、2次救急医療機関を受診する傾向がある。
- ・初期救急（一般・小児）の土曜日、日曜日、祝日の夜間帯が空白時間となっている。（小児初期救急で、桶川北本伊奈地区は土曜日22時まで診療）
- ・小児の2次救急において、祝日及び年末年始の夜間帯が空白時間となっている。

→【課題解消の取組結果】 小児の2次救急については、管内医療機関等の協力を得て、令和6年2月11日から、日曜日夜間帯の空白時間が解消された。

- ・2次救急医療の圏域内搬送割合は65.7%となっている。（R5年）

◆ 在宅医療

- ・75歳以上人口1万人当り在宅医療施設数が県平均を下回っている。
- ・需要の大幅増に対応するため、今後複数医師が所属する専門のチームを作るなど、在宅医療に関わる多職種連携体制の整備を更に図る必要がある。

→【課題解消の取組結果】 令和4年度に、北足立地区、上尾市において入退院支援ルールがそれぞれ策定された。

参考データ（在宅医療）

厚生労働省関東信越厚生局「施設基準届出受理機関名簿」

	2016年4月1日	2023年12月1日
【埼玉県】		
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等 医学総合管理料届出医療機関数	751 <small>（人口10万人当たり）</small> (10.25)	903 <small>（人口10万人当たり）</small> (12.32)
【県央圏域】		
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等 医学総合管理料届出医療機関数	12 <small>（人口10万人当たり）</small> (2.24)	60 <small>（人口10万人当たり）</small> (11.36)

2025年に向けて圏域が目指す姿

- ・実際の医療ニーズに即した医療機能の分化と連携が進み、機能別の病床必要量が確保できている。
- ・「地域完結型医療（地域全体で切れ目なく必要な医療を提供）」が構築されている。

救急医療圏別搬送状況（令和5年）

機関 地 消防機関 所在地	さいたま		中央		川越		比企		児玉		熊谷・深谷		所沢		朝霞		戸田・蕨		川口		東部北		東部南		坂戸・飯能		秩父		Drへリ		県外		合計	
	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)
中央	3,413	13.4	16,758	65.7	792	3.1	44	0.2	1	0.0	2,439	9.6	27	0.1	11	0.0	19	0.1	37	0.1	1,786	7.0	35	0.1	67	0.3	0	0.0	16	0.1	73	0.3	25,502	100.0
県全体	71,042	19.6	18,911	5.2	31,339	8.6	6,860	1.9	3,757	1.0	23,807	6.6	36,128	10.0	17,669	4.9	9,981	2.8	29,847	8.2	28,562	7.9	48,659	13.4	18,029	5.0	3,750	1.0	213	0.1	14,278	3.9	362,832	100.0

圏域内搬送	294,454	81.2%
-------	---------	-------

救急医療圏別搬送状況（令和元年）

機関 地 消防機関 所在地	さいたま		中央		川越		比企		児玉		熊谷・深谷		所沢		朝霞		戸田・蕨		川口		東部北		東部南		坂戸・飯能		秩父		Drへリ		県外		合計	
	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)	搬送件数	割合(%)
中央	2,864	13.2	15,195	70.2	669	3.1	33	0.2	0	0.0	1,870	8.6	5	0.0	4	0.0	4	0.0	13	0.1	862	4.0	26	0.1	60	0.3	0	0.0	34	0.2	52	0.2	21,657	100.0
県全体	61,022	19.3	17,278	5.5	27,152	8.6	5,666	1.8	2,586	0.8	21,305	6.7	30,720	9.7	15,738	5.0	9,180	2.9	26,675	8.4	23,213	7.3	41,366	13.1	15,862	5.0	3,446	1.1	295	0.1	14,726	4.7	316,230	100.0

圏域内搬送	261,061	82.6%
-------	---------	-------

※ 埼玉県救急医療情報システムから抽出
 ※ 転院搬送含む

データ集

(令和5年度版)

- P. 2 回復期リハビリテーション病床数・地域包括ケア病床数
- P. 3 在宅医療施設数（在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所・在宅療養
後方支援病院・訪問看護ステーション）
- P. 5 人口10万人当り医療機関数
- P. 6 人口10万人当り病床数
- P. 7 人口10万人当り医師数
- P. 8 病床数・1日平均在院患者数
- P. 10 病床利用率（一般）
- P. 12 病床利用率（療養）
- P. 14 医療需要予測指数
- P. 16 介護需要予測指数
- P. 18 人口推計
- P. 20 高齢者割合推計
- P. 22 患者流出入割合

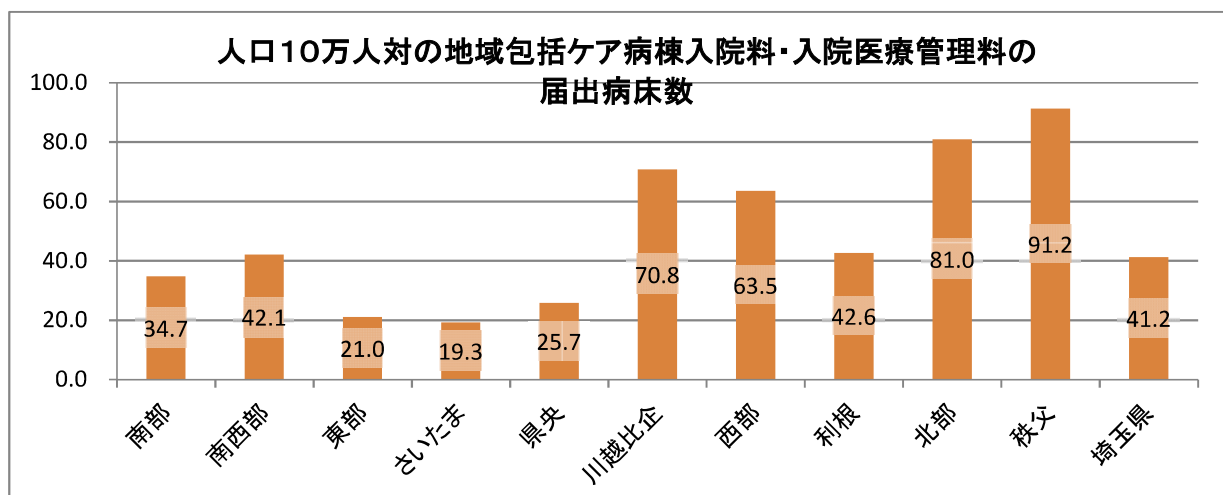
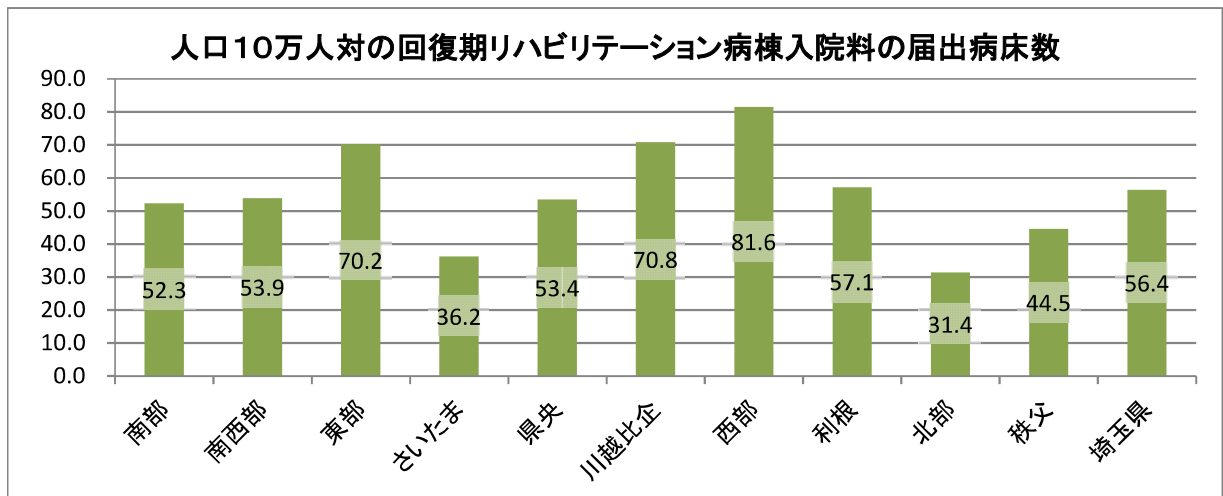
回復期リハビリテーション病床数・地域包括ケア病床数

	回復期リハビリテーション			地域包括ケア			人口
	病院数	病床数	人口10万人 当り	病院数	病床数	人口10万人 当り	
南部	6	423	52.3	11	281	34.7	808,931
南西部	8	395	53.9	11	308	42.1	732,389
東部	11	808	70.2	9	242	21.0	1,150,780
さいたま	9	487	36.2	7	259	19.3	1,344,480
県央	7	282	53.4	5	136	25.7	528,272
川越比企	6	558	70.8	15	558	70.8	788,375
西部	11	625	81.6	18	487	63.5	766,361
利根	6	359	57.1	9	268	42.6	628,372
北部	3	155	31.4	10	400	81.0	494,068
秩父	1	40	44.5	3	82	91.2	89,886
埼玉県	68	4,132	56.4	98	3,021	41.2	7,331,914

※ 色塗りは県平均を上回る圏域

※出典：関東信越厚生局「回復期リハビリテーション病棟入院料」「地域包括ケア病棟入院料及び入院医療管理料」の届出を行っている医療機関（令和5年9月1日）

※医療圏人口：埼玉県推計人口（令和5年9月1日現在）



在宅医療施設数（在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所・在宅療養後方支援病院・訪問看護ステーション）

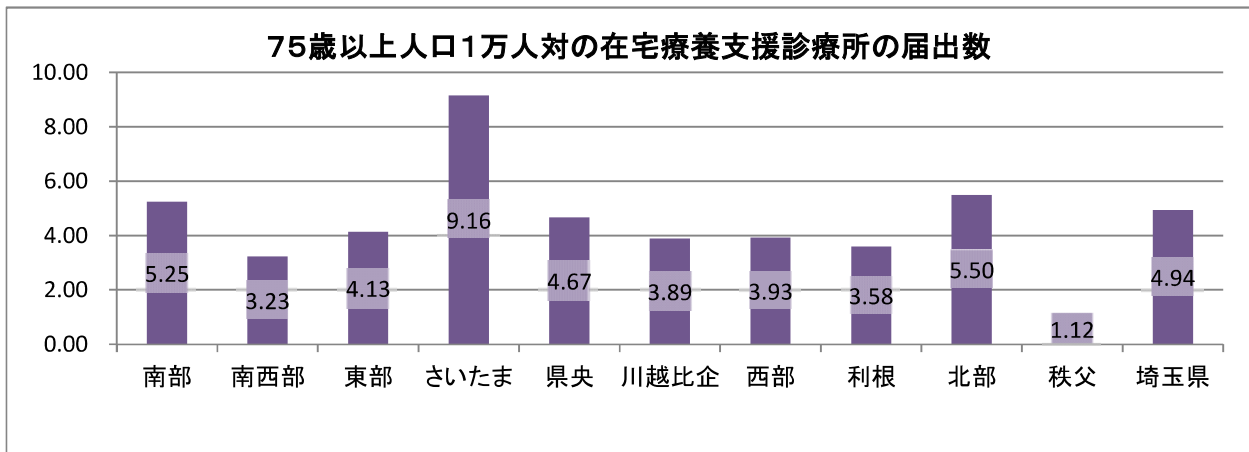
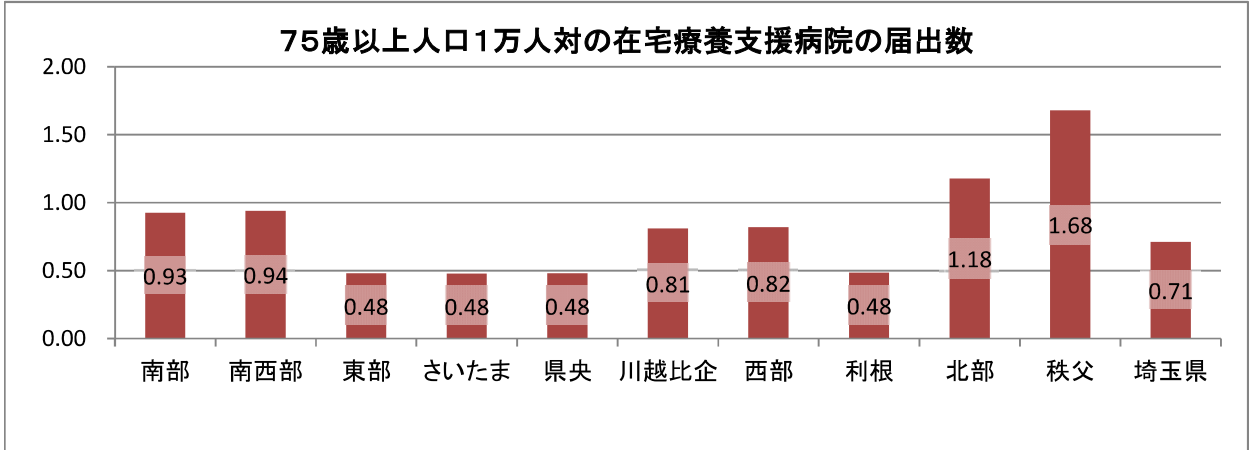
	在宅療養支援病院		在宅療養支援診療所		在宅療養後方支援病院		訪問看護ステーション		75歳以上人口
	病院数	75歳以上1万人当り	診療所数	75歳以上1万人当り	病院数	75歳以上1万人当り	施設数	75歳以上1万人当り	
南部	9	0.93	51	5.25	3	0.31	54	5.56	97,189
南西部	9	0.94	31	3.23	4	0.42	45	4.70	95,834
東部	8	0.48	69	4.13	5	0.30	85	5.09	166,995
さいたま	8	0.48	154	9.16	3	0.18	117	6.96	168,107
県央	4	0.48	39	4.67	1	0.12	38	4.55	83,504
川越比企	10	0.81	48	3.89	3	0.24	57	4.62	123,485
西部	10	0.82	48	3.93	3	0.25	76	6.22	122,090
利根	5	0.48	37	3.58	3	0.29	38	3.68	103,211
北部	9	1.18	42	5.50	2	0.26	48	6.28	76,379
秩父	3	1.68	2	1.12	0	0.00	8	4.47	17,889
埼玉県	75	0.71	521	4.94	27	0.26	566	5.37	1,054,683

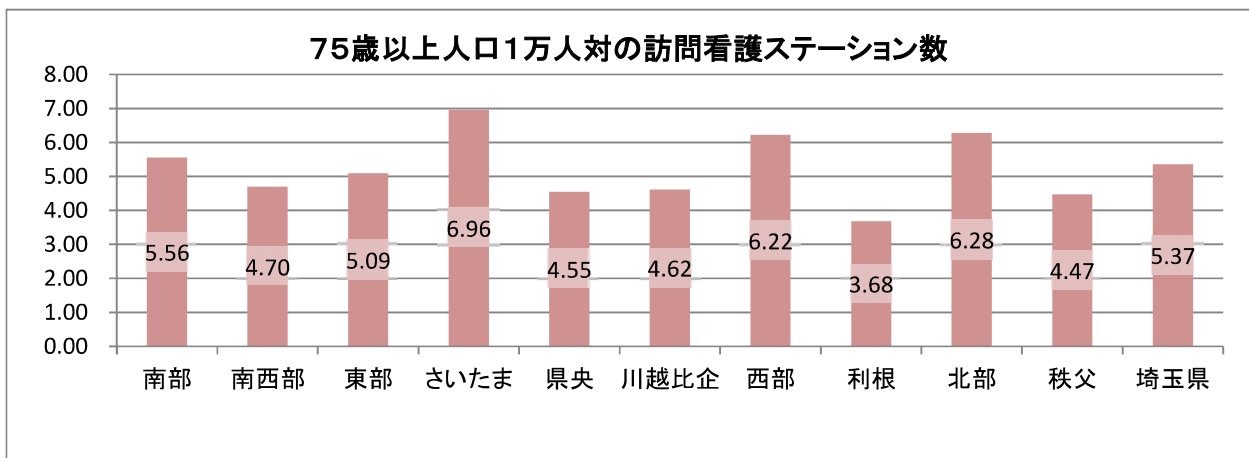
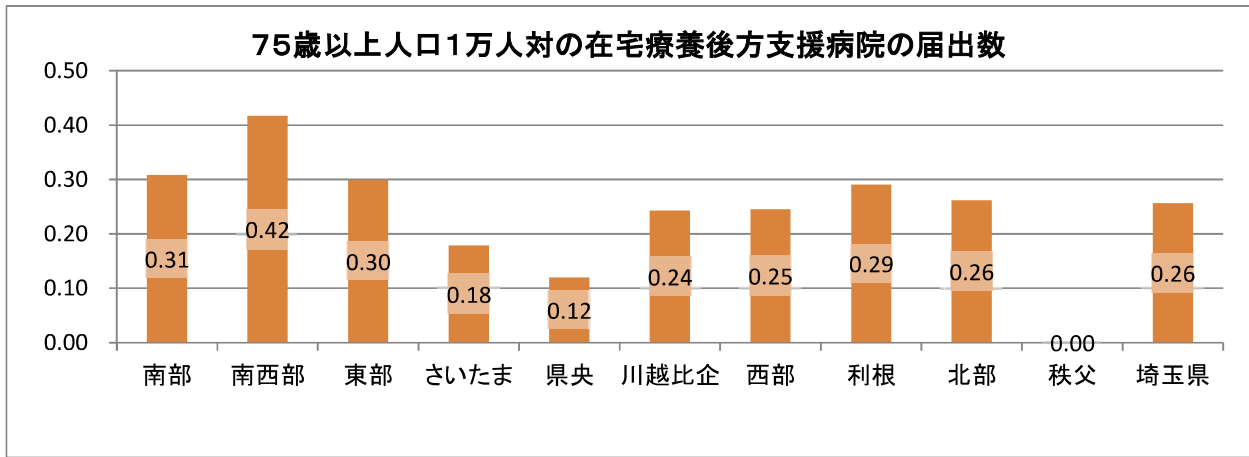
※ **色塗り** は県平均を上回る圏域

※出典（在支病・在支診・在後病）：関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿」（令和5年9月1日）

※出典（訪看）：厚生労働省「介護サービス情報公開システム」（令和5年11月1日）

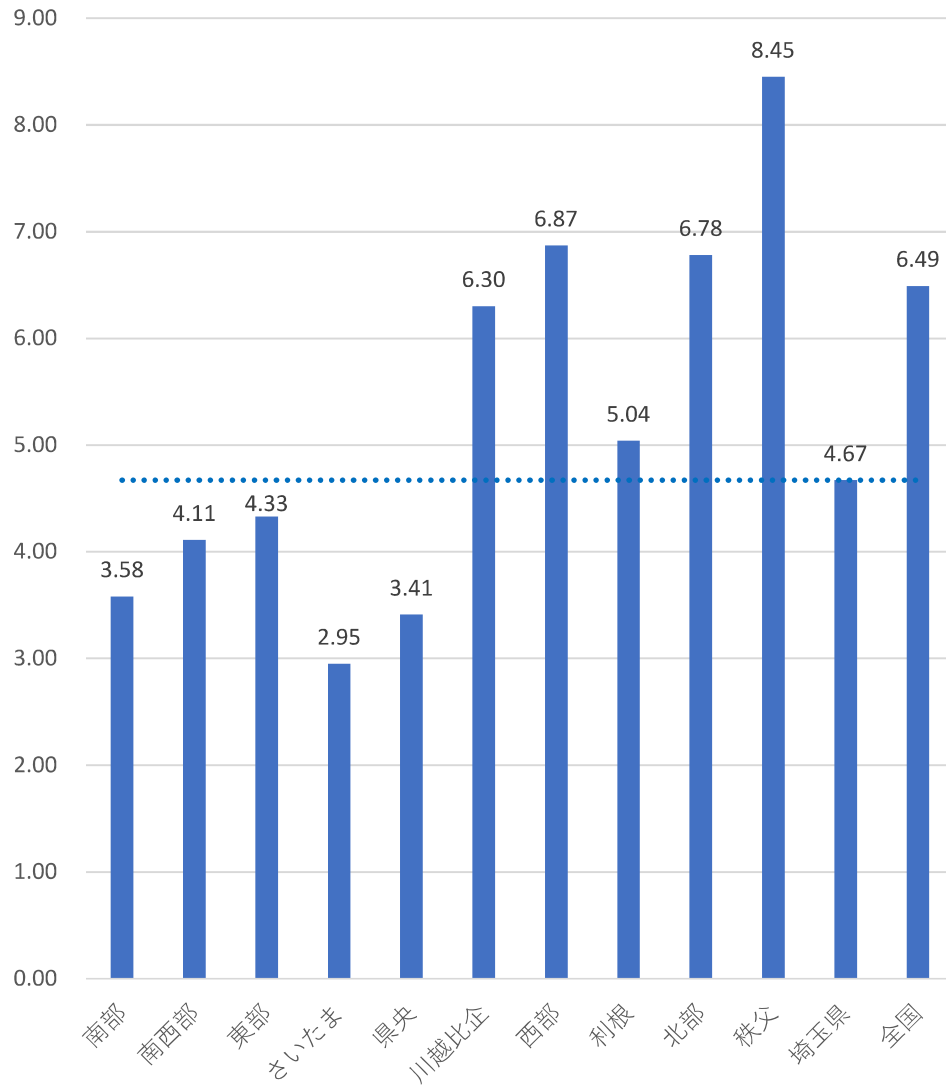
※医療圏人口：町（丁）字別人口調査（令和5年1月1日現在）



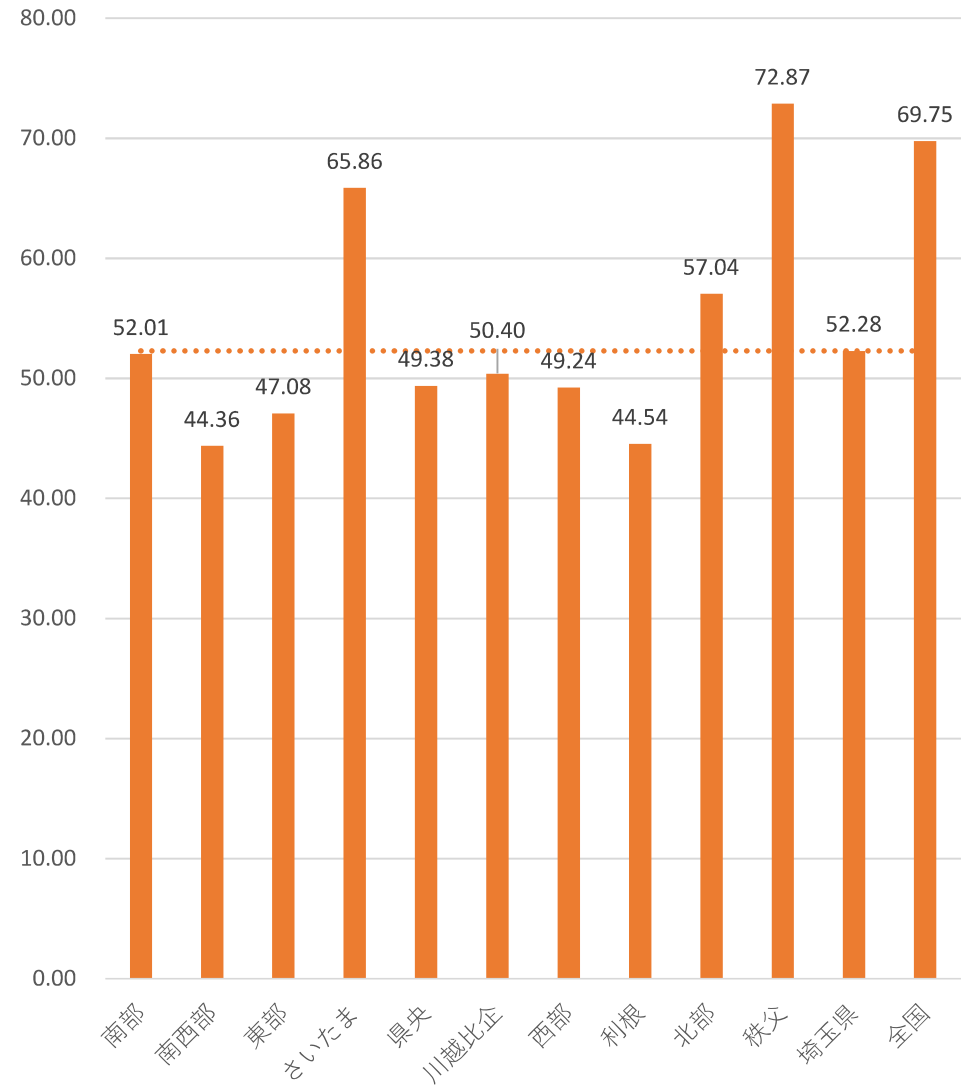


人口10万人当たり医療機関数

人口10万人当たり病院数



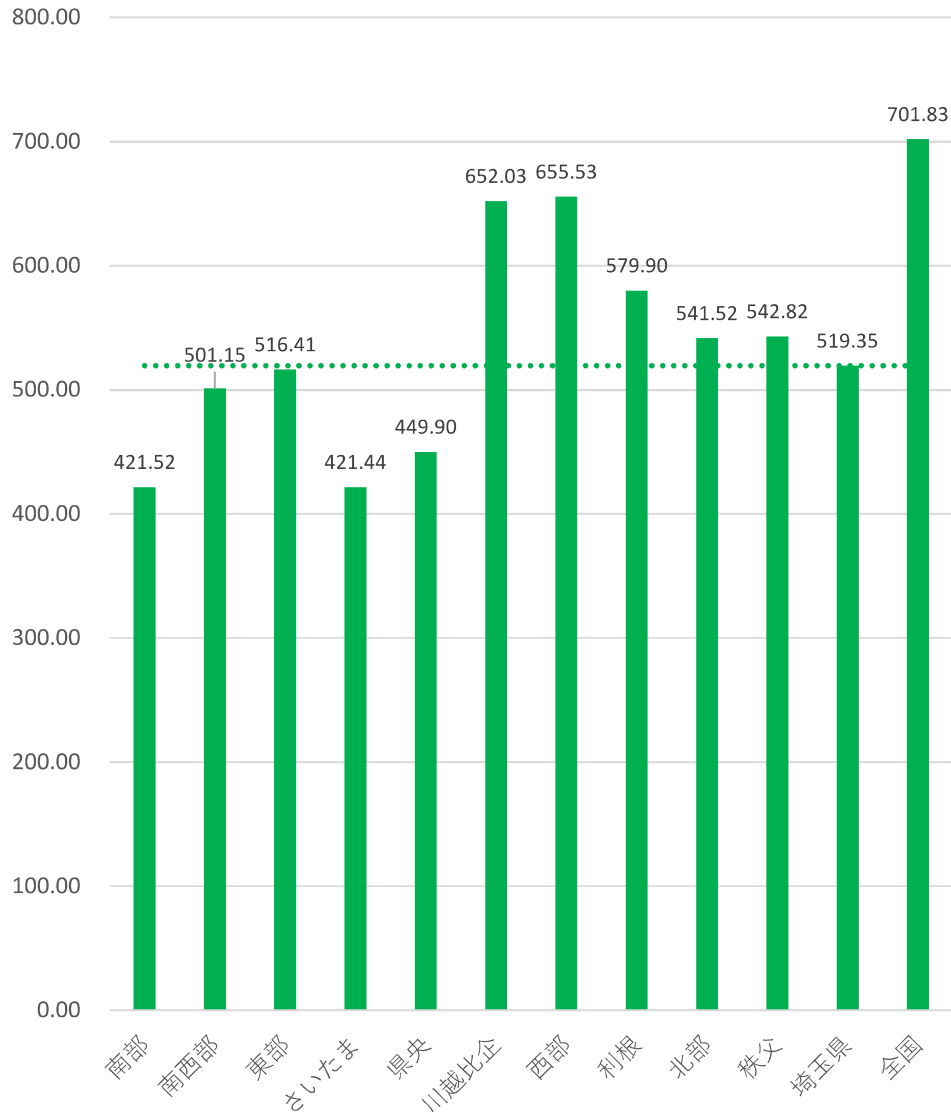
人口10万人当たり診療所数



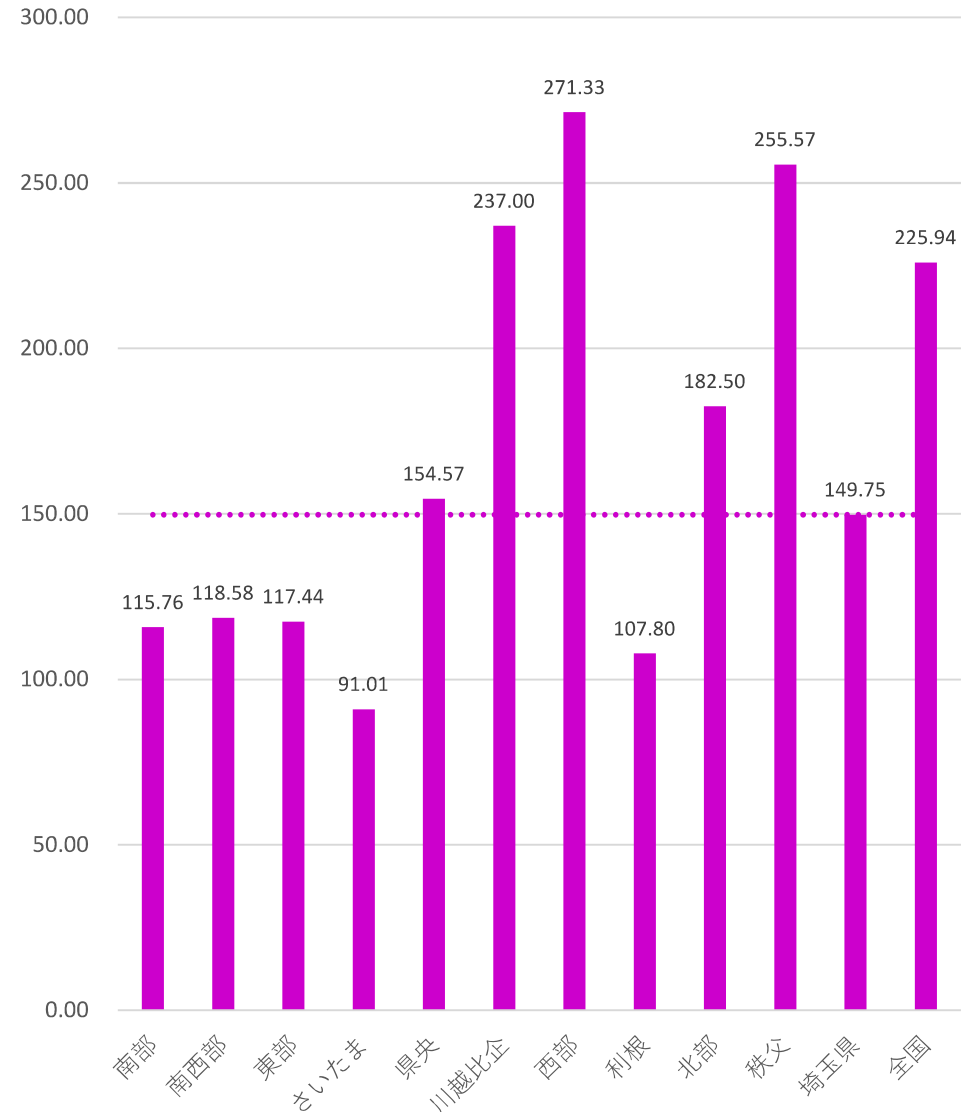
※出典：日本医師会地域医療情報システム（医療機関数は2021年11月現在、人口は2020年国勢調査ベース）

人口10万人当たり病床数

人口10万人当たり一般病床数



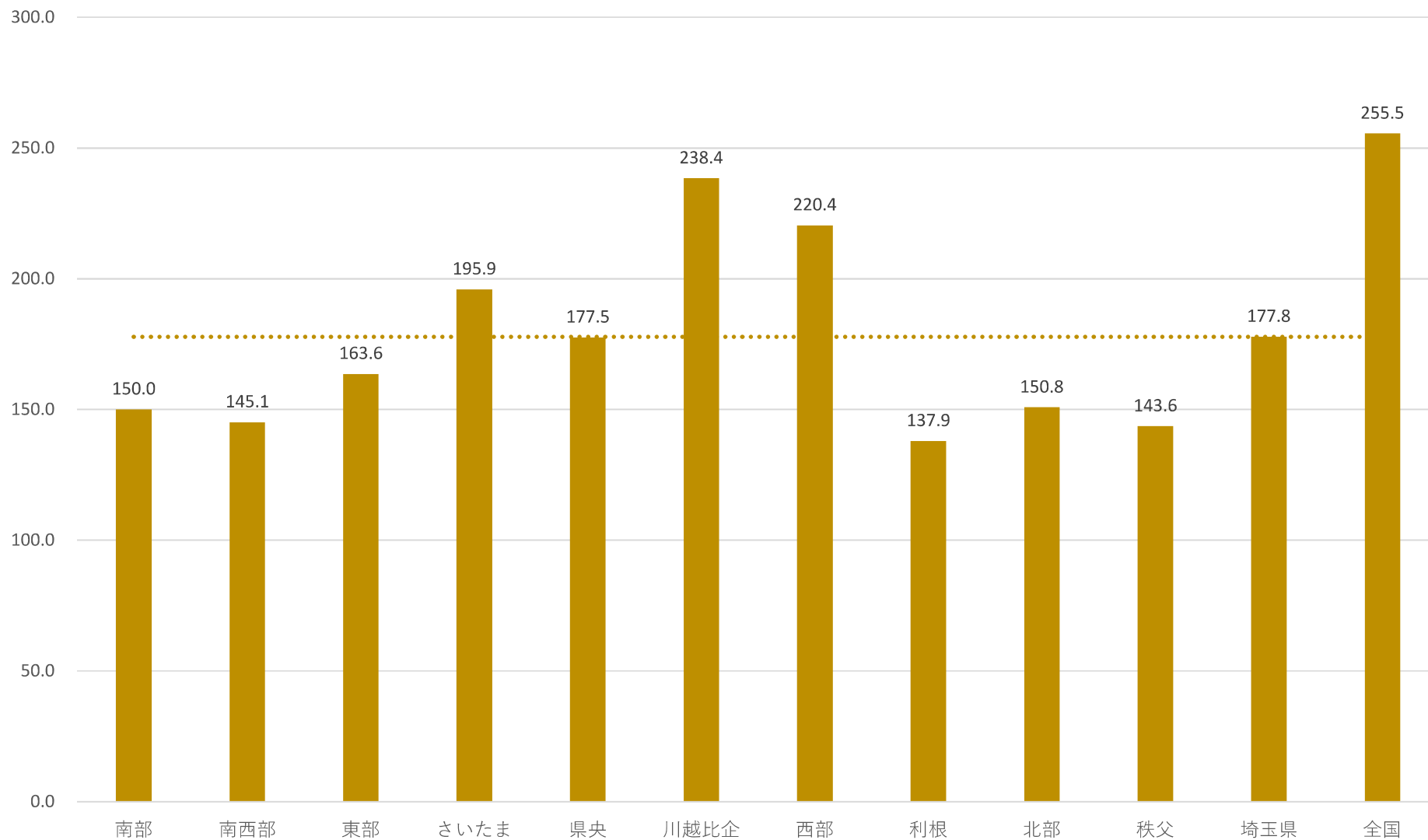
人口10万人当たり療養病床数



※出典：日本医師会地域医療情報システム（病床数は2021年11月現在、人口は2020年国勢調査ベース）

人口10万人当たり医師数

人口10万人当たり医師数



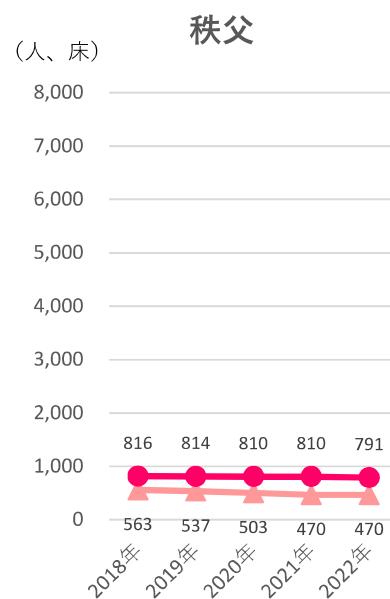
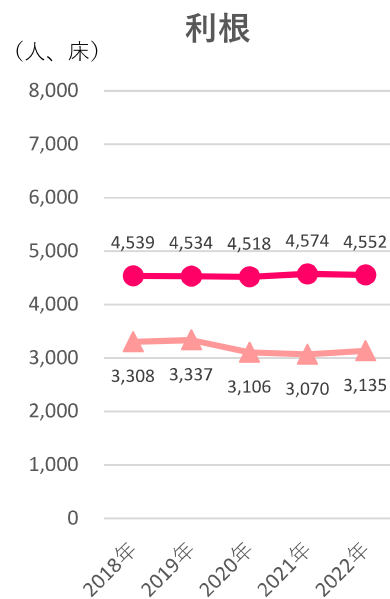
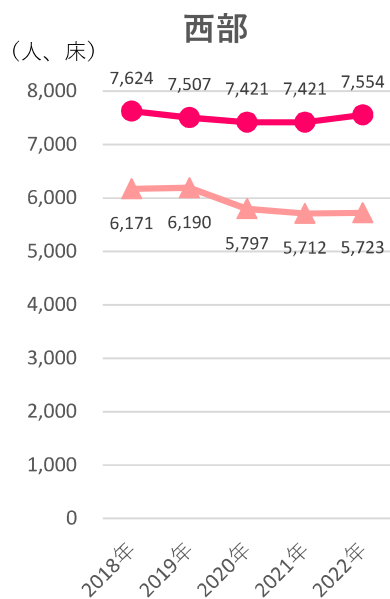
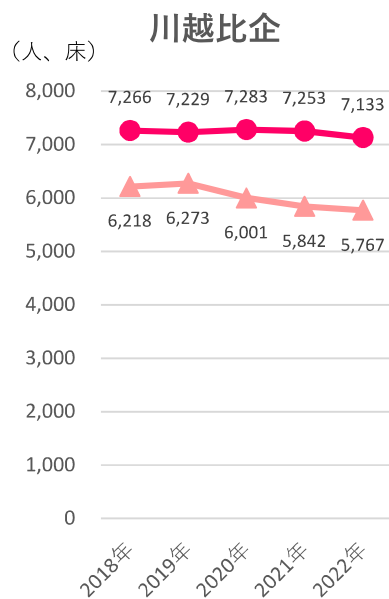
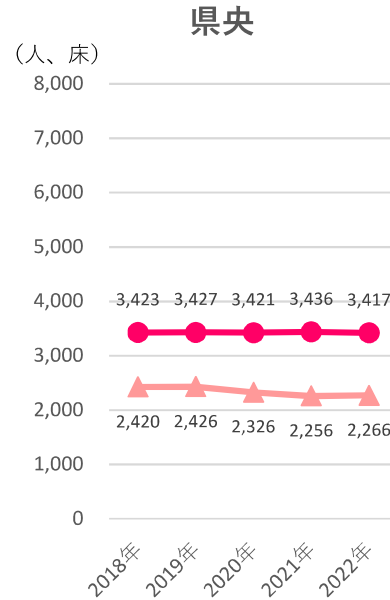
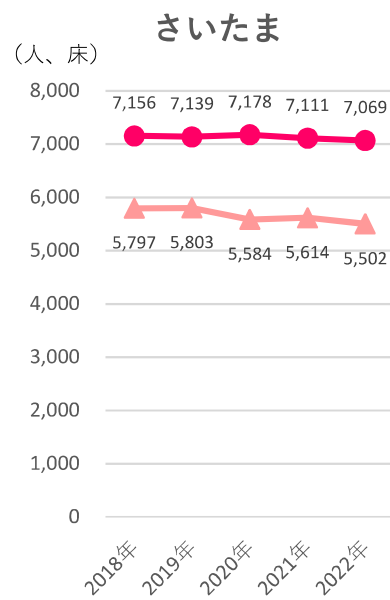
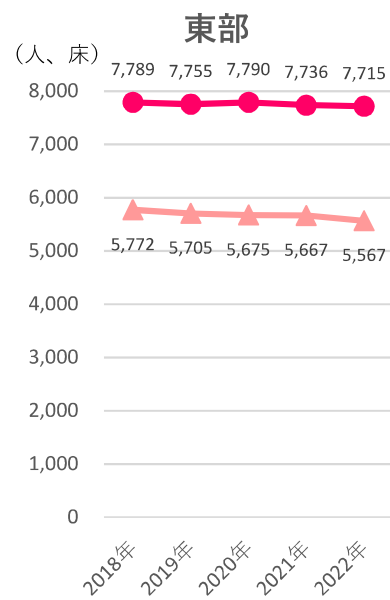
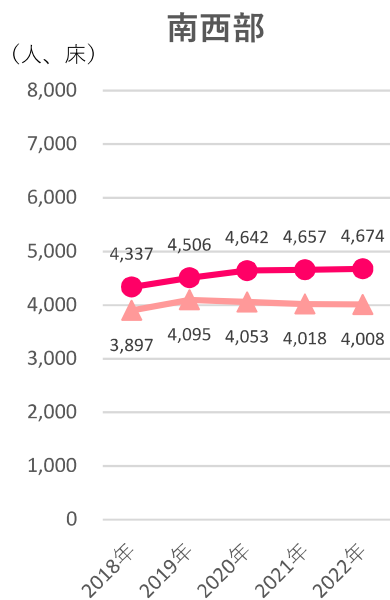
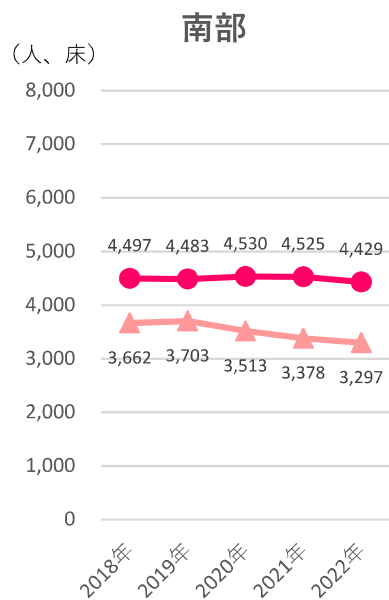
※出典：令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計を基に作成

病床数・1日平均在院患者数



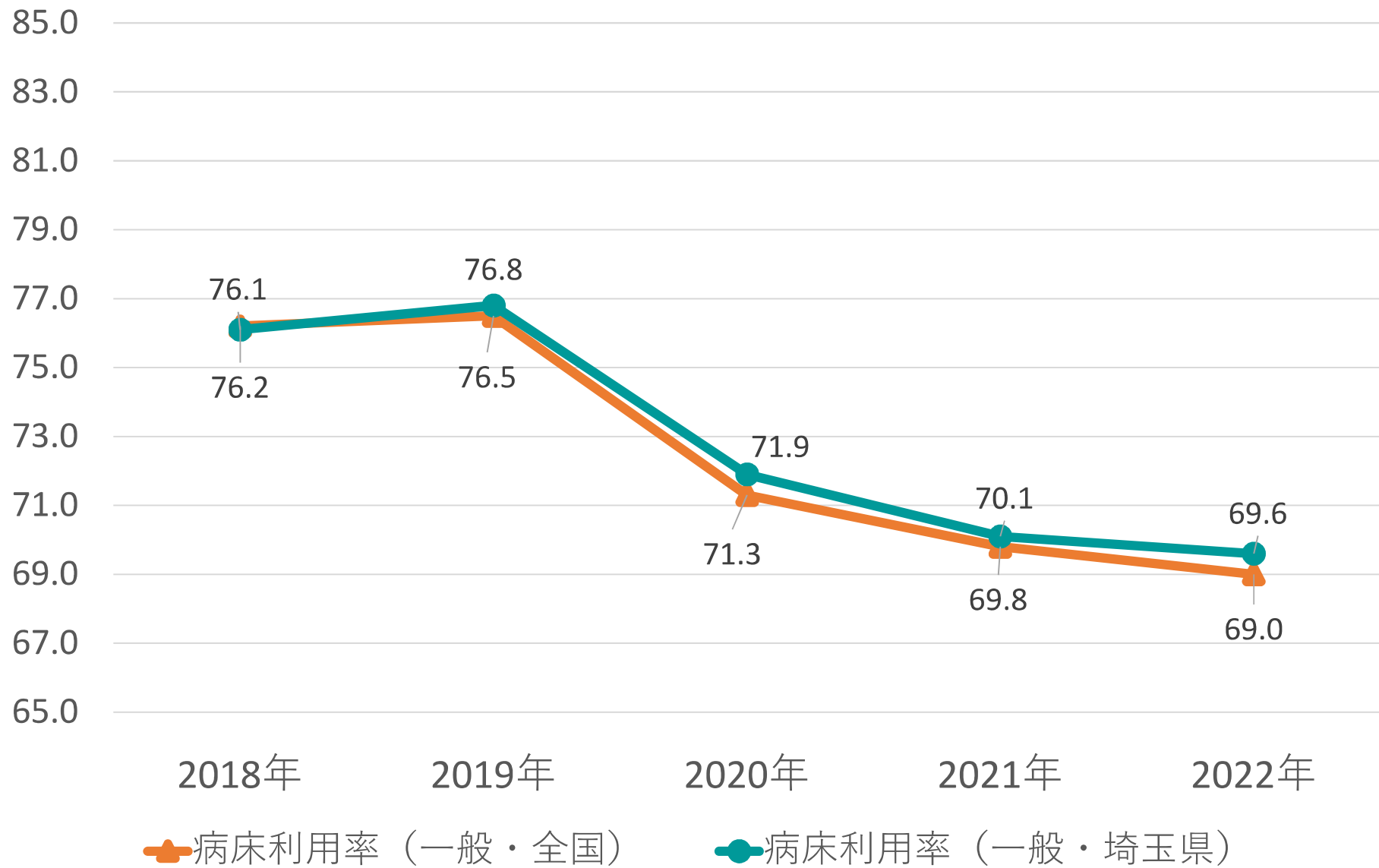
※出典：病院報告第25表、病床機能報告

病床数・1日平均在院患者数（各圏域）



▲ 1日平均在院患者数 ● 病床数

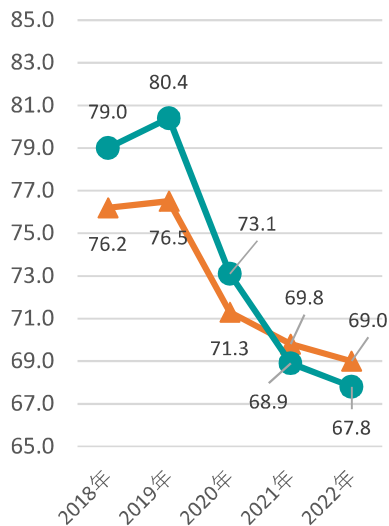
病床利用率（一般・埼玉県）



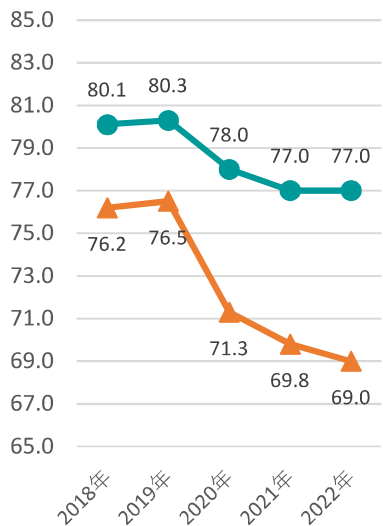
※出典：病院報告第23表

病床利用率（一般・各圏域）

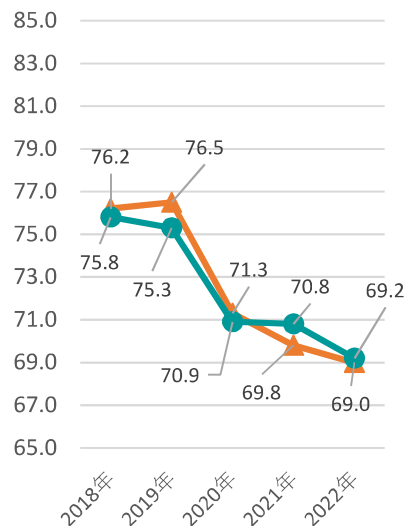
南部



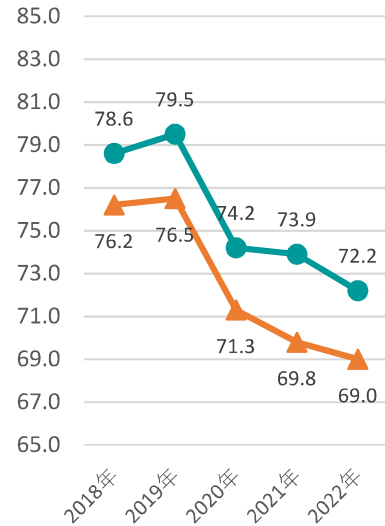
南西部



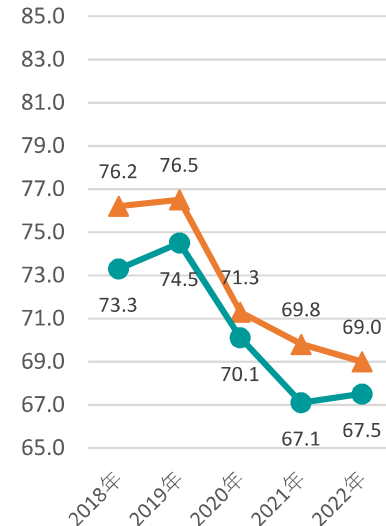
東部



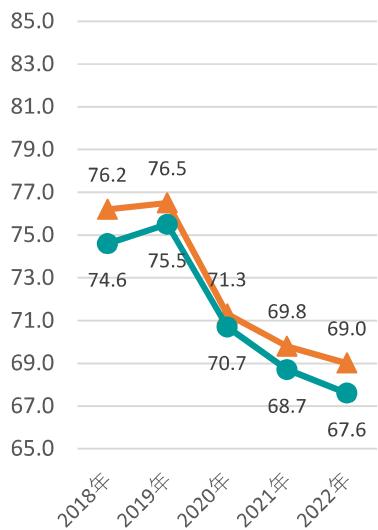
さいたま



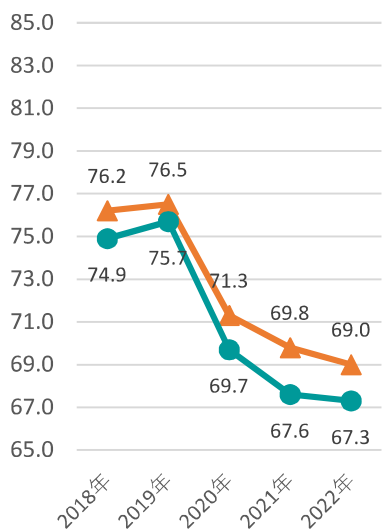
県央



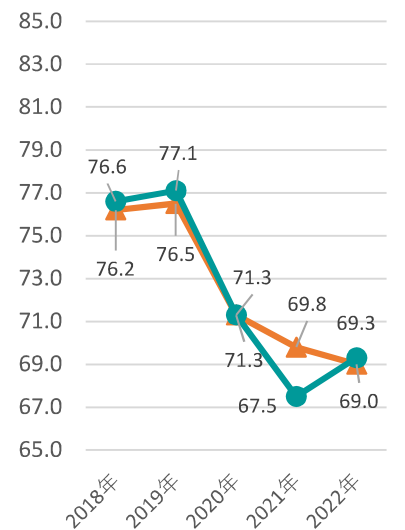
川越比企



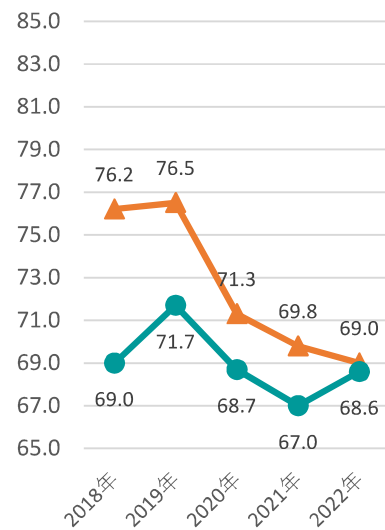
西部



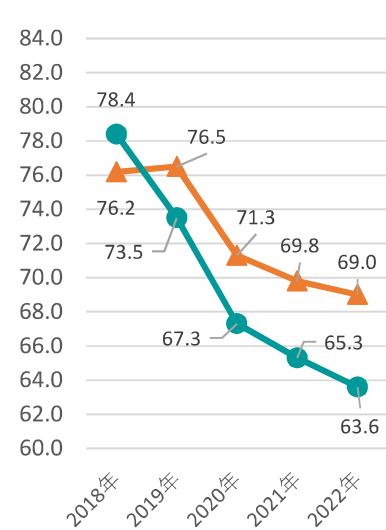
利根



北部



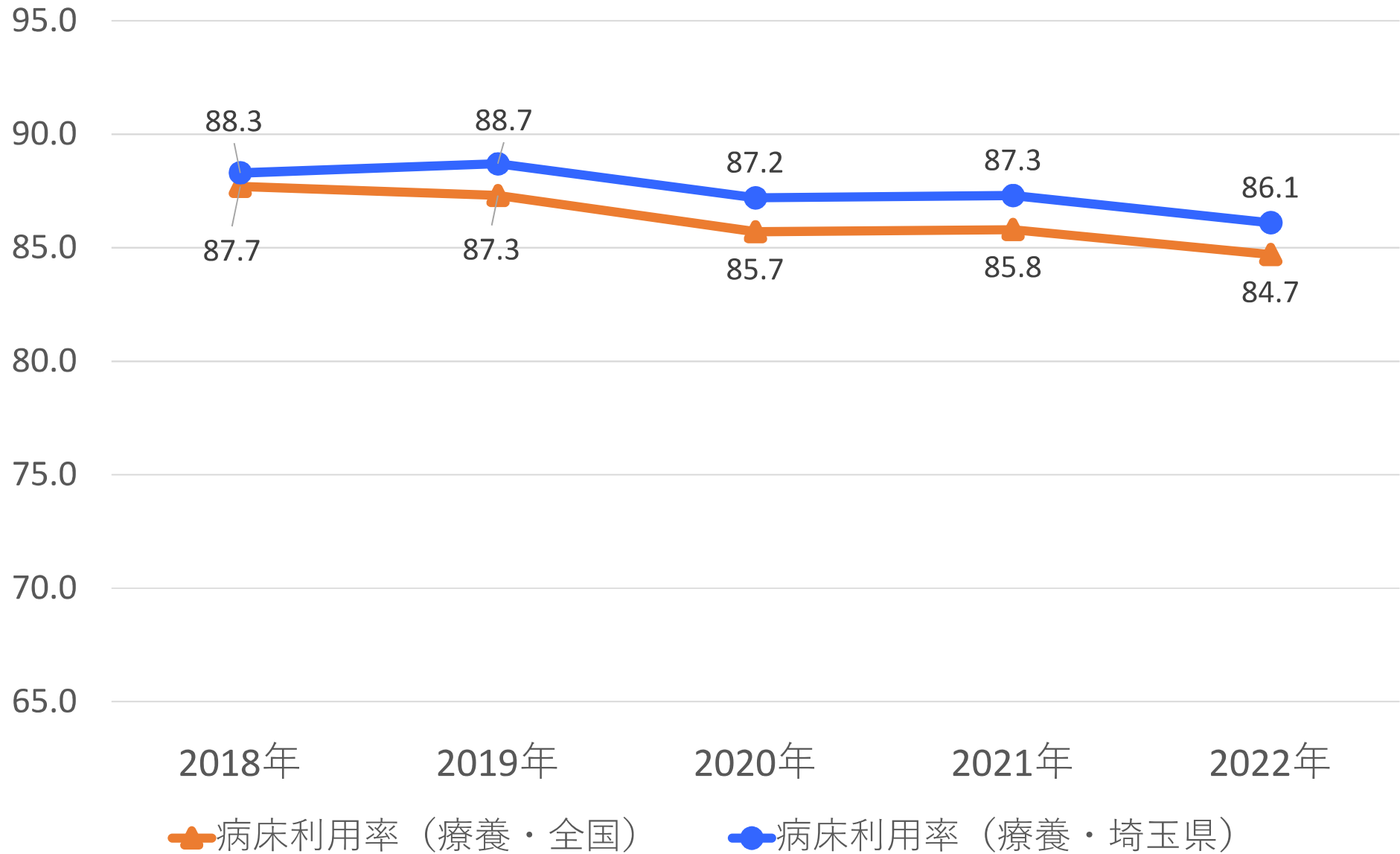
秩父



▲ 病床利用率（一般・全国）

● 病床利用率（一般・圏域）

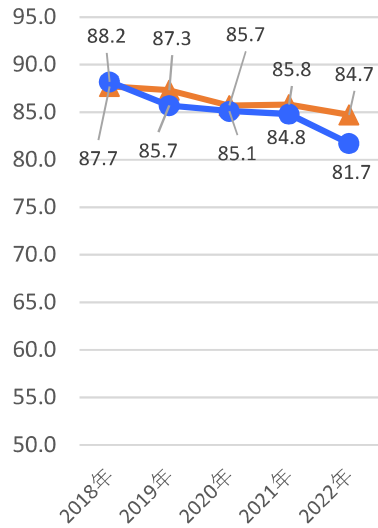
病床利用率（療養・埼玉県）



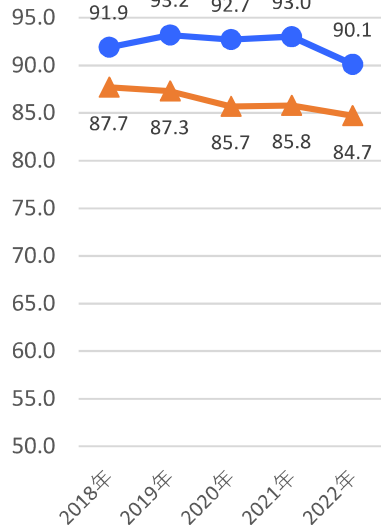
※出典：病院報告第23表

病床利用率（療養・各圏域）

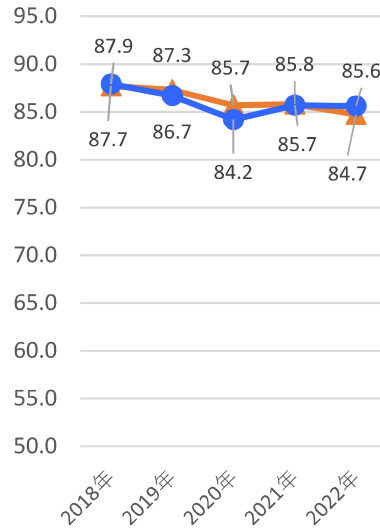
南部



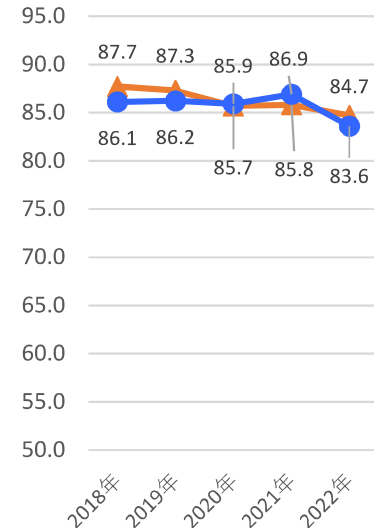
南西部



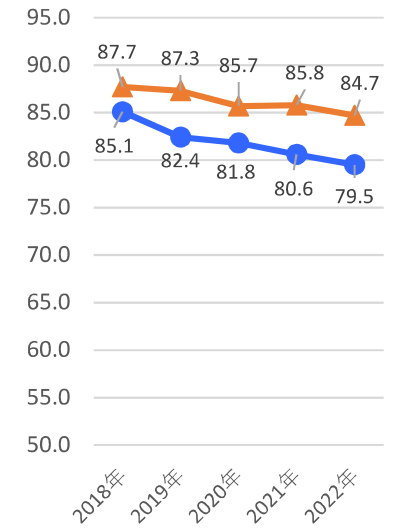
東部



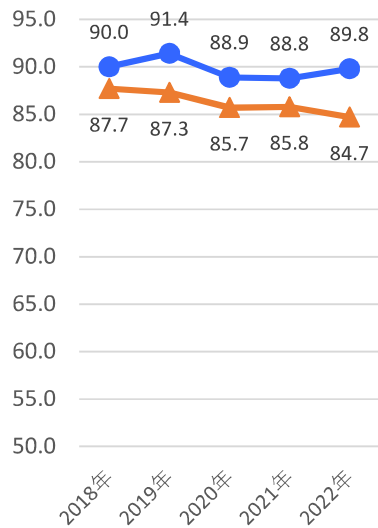
さいたま



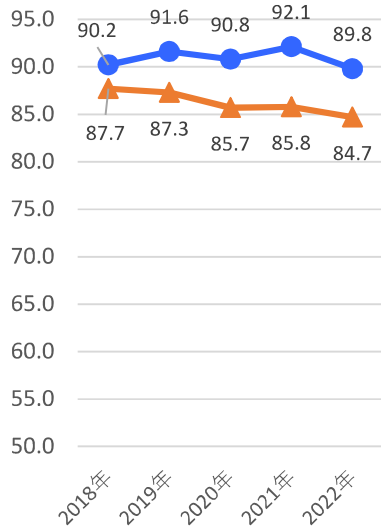
県央



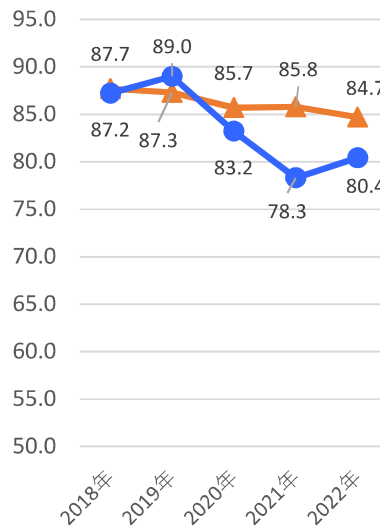
川越比企



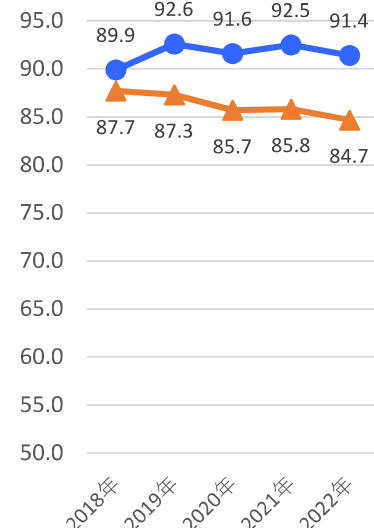
西部



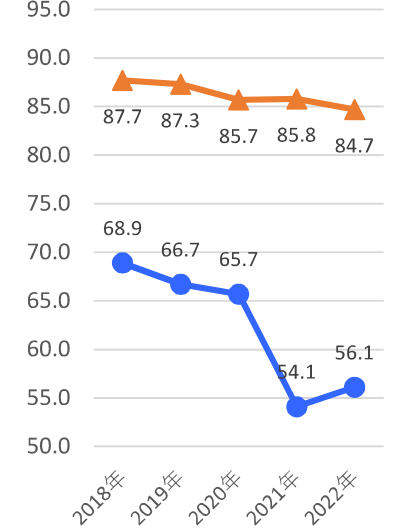
利根



北部



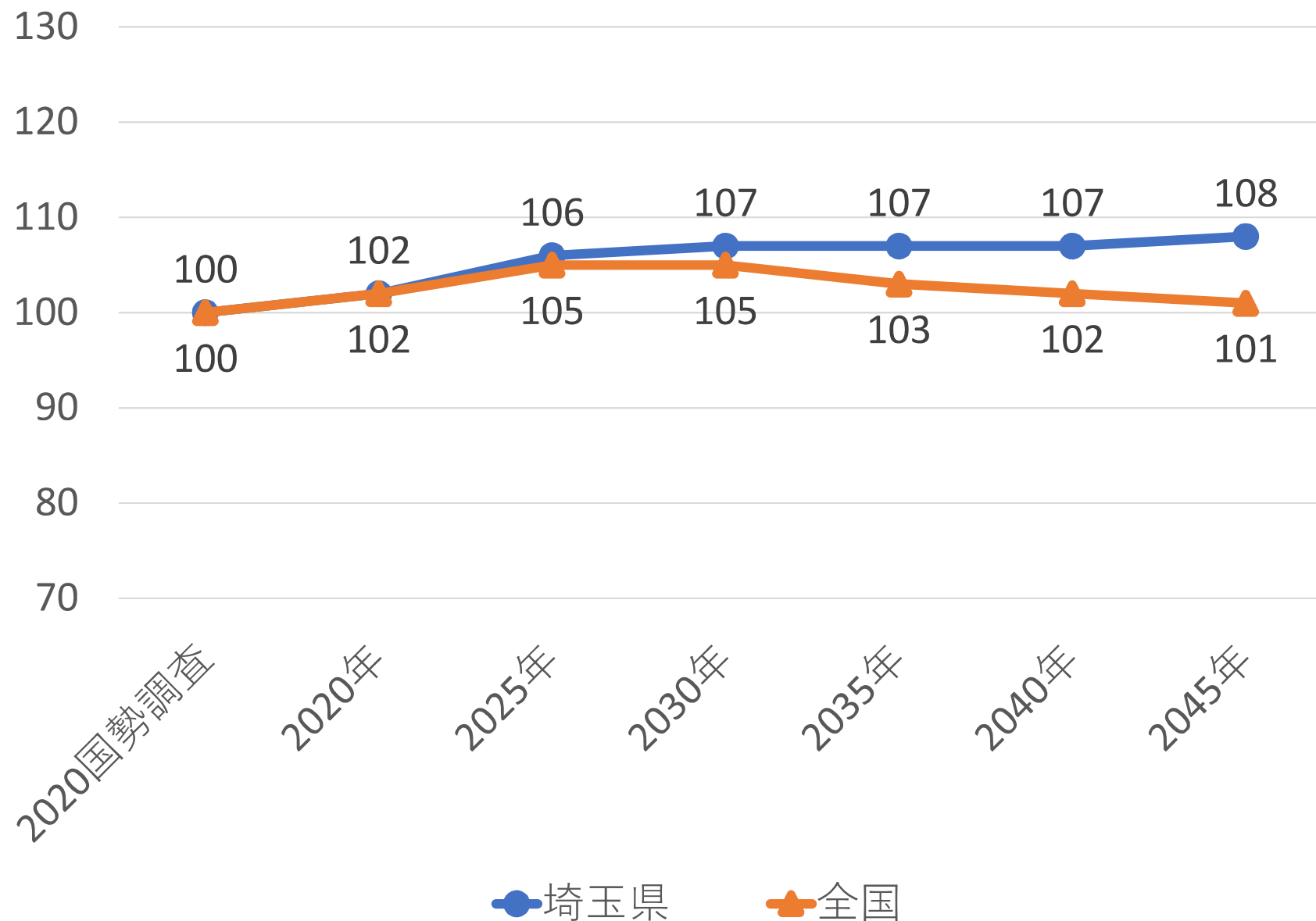
秩父



▲ 病床利用率（療養・全国）

● 病床利用率（療養・圏域）

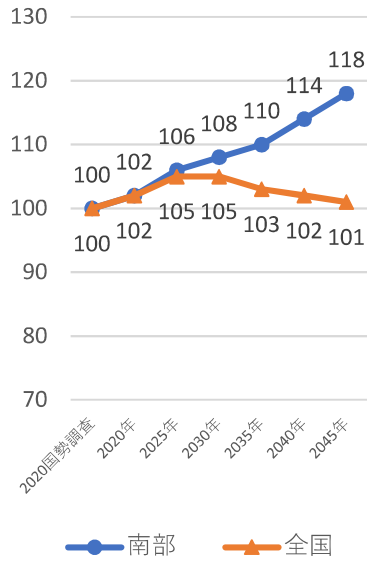
医療需要予測指数



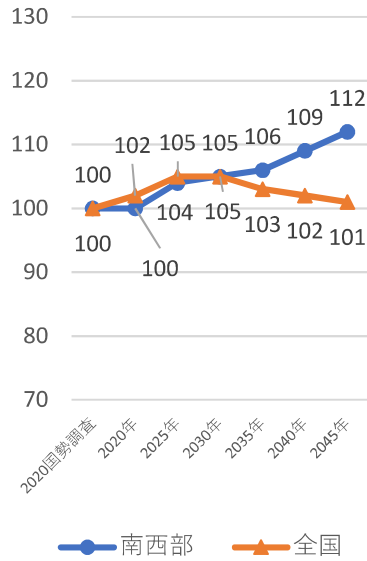
※出典：日本医師会地域医療情報システム（2020年国勢調査に基づく需要量 = 100として指数化）

医療需要予測指数（各圏域）

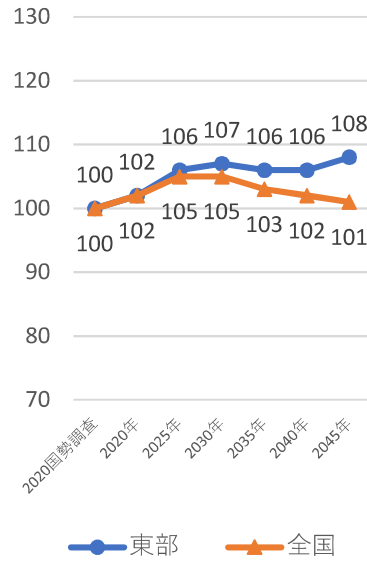
南部



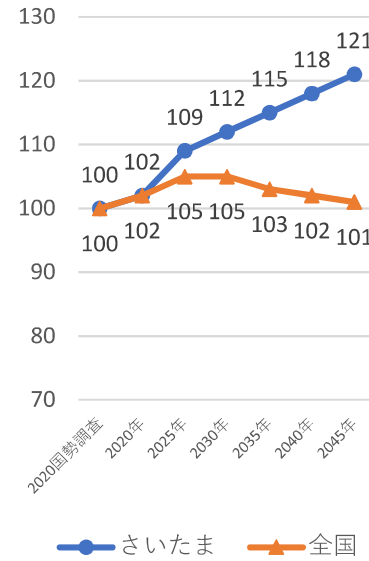
南西部



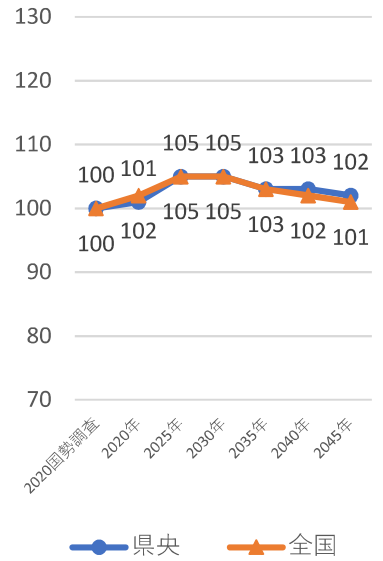
東部



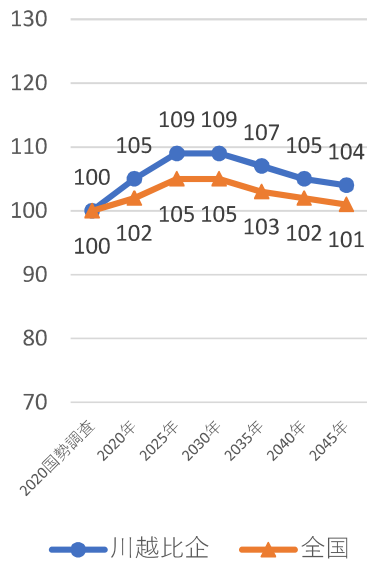
さいたま



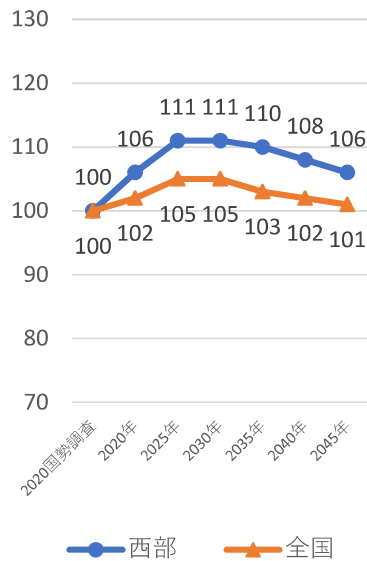
県央



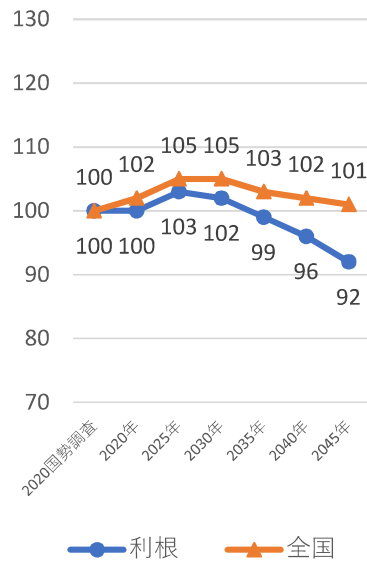
川越比企



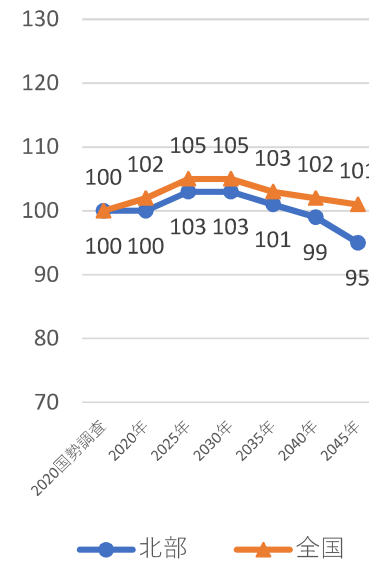
西部



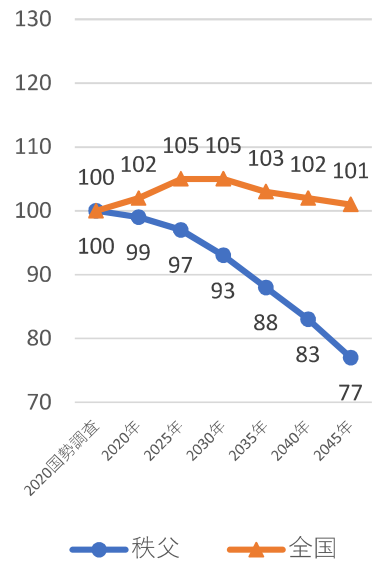
利根



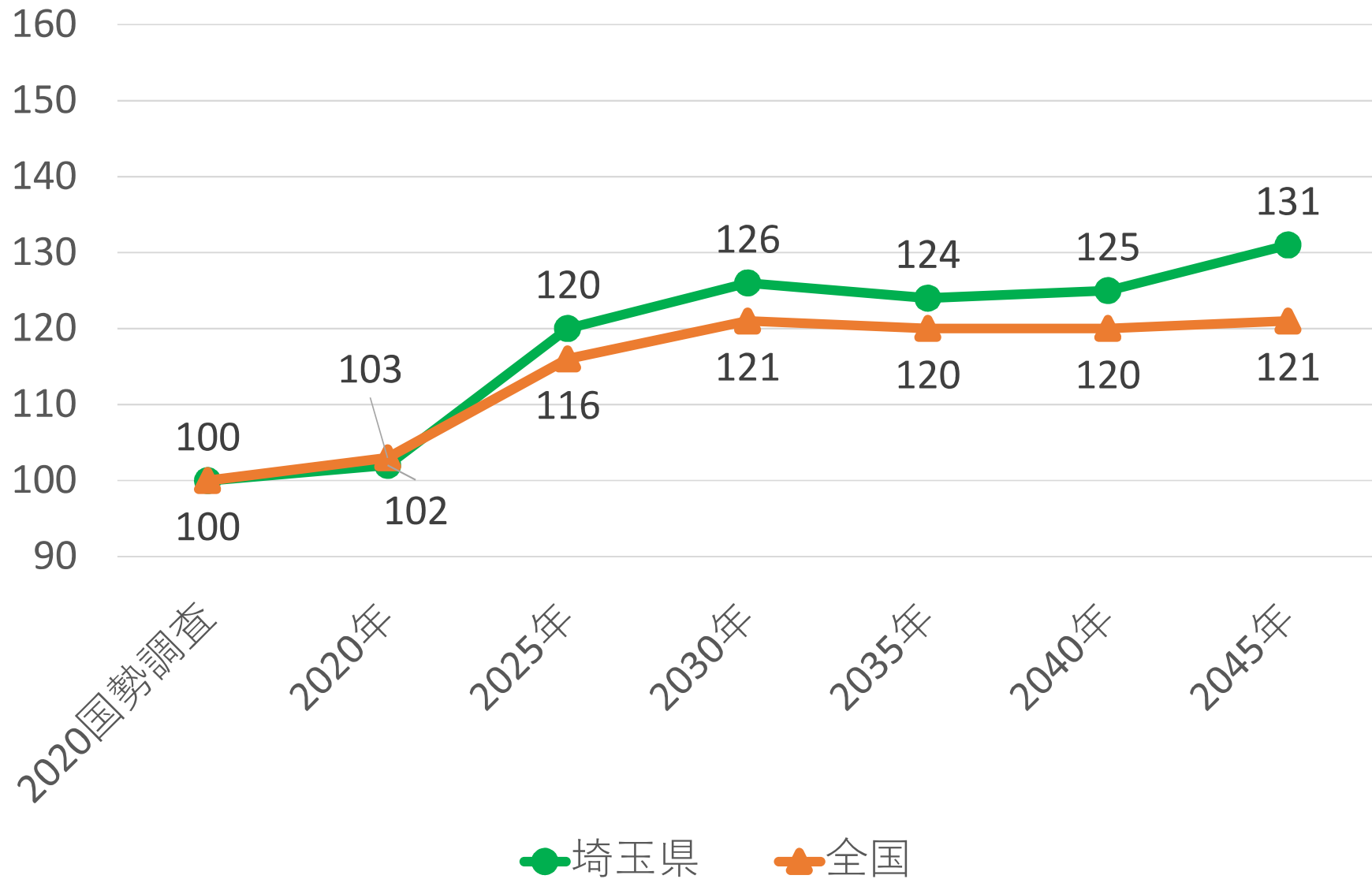
北部



秩父



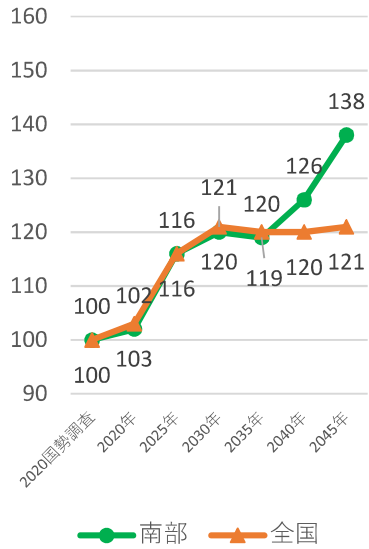
介護需要予測指数



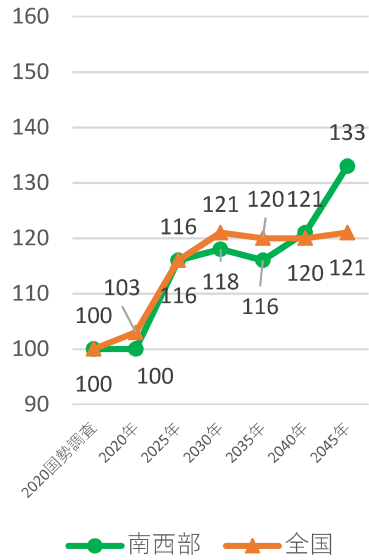
※出典：日本医師会地域医療情報システム（2020年国勢調査に基づく需要量＝100として指数化）

介護需要予測指数（各圏域）

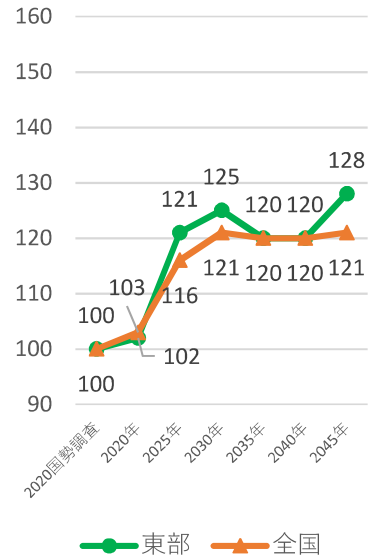
南部



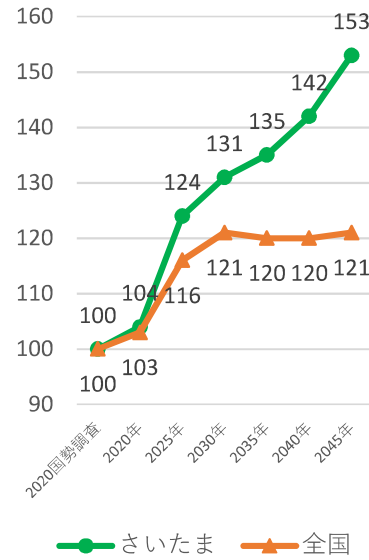
南西部



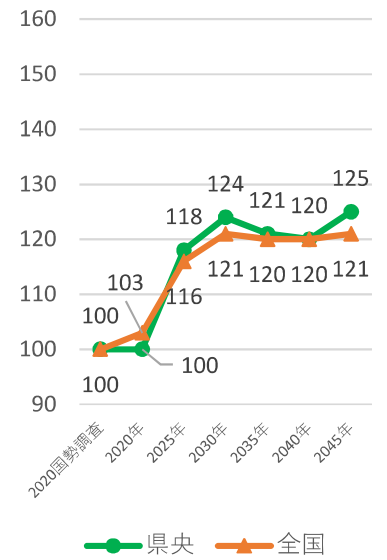
東部



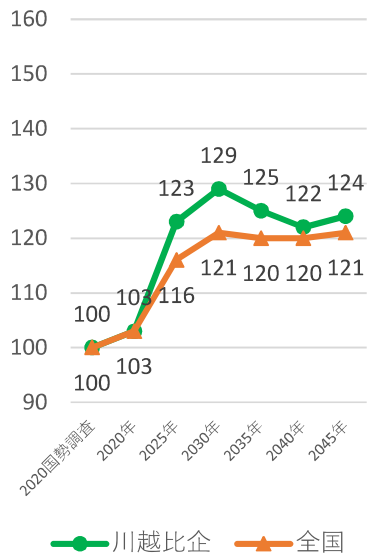
さいたま



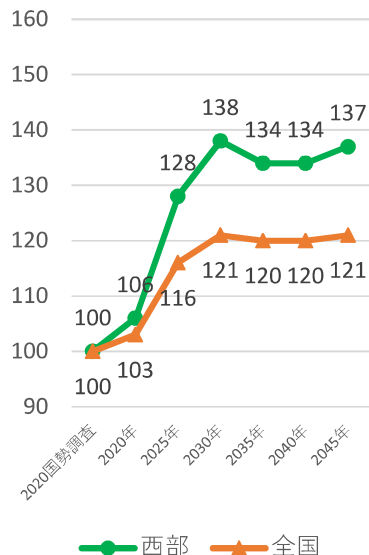
県央



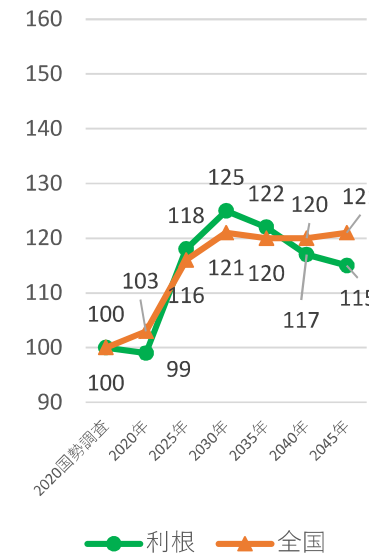
川越比企



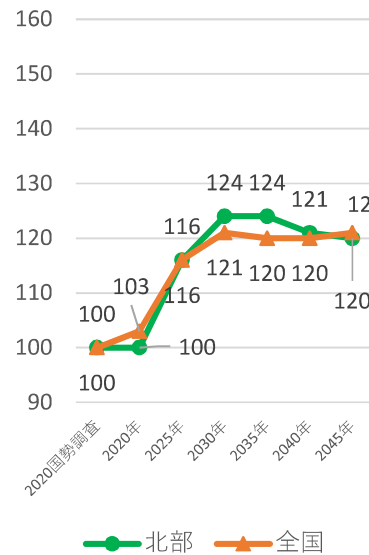
西部



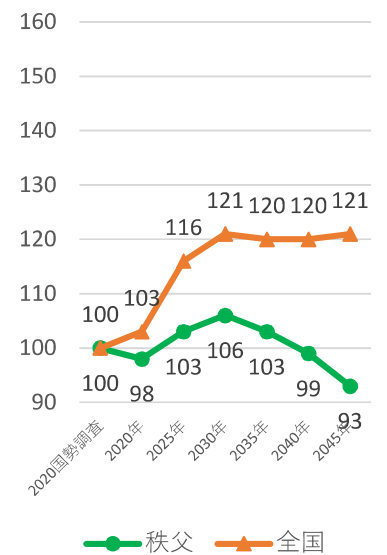
利根



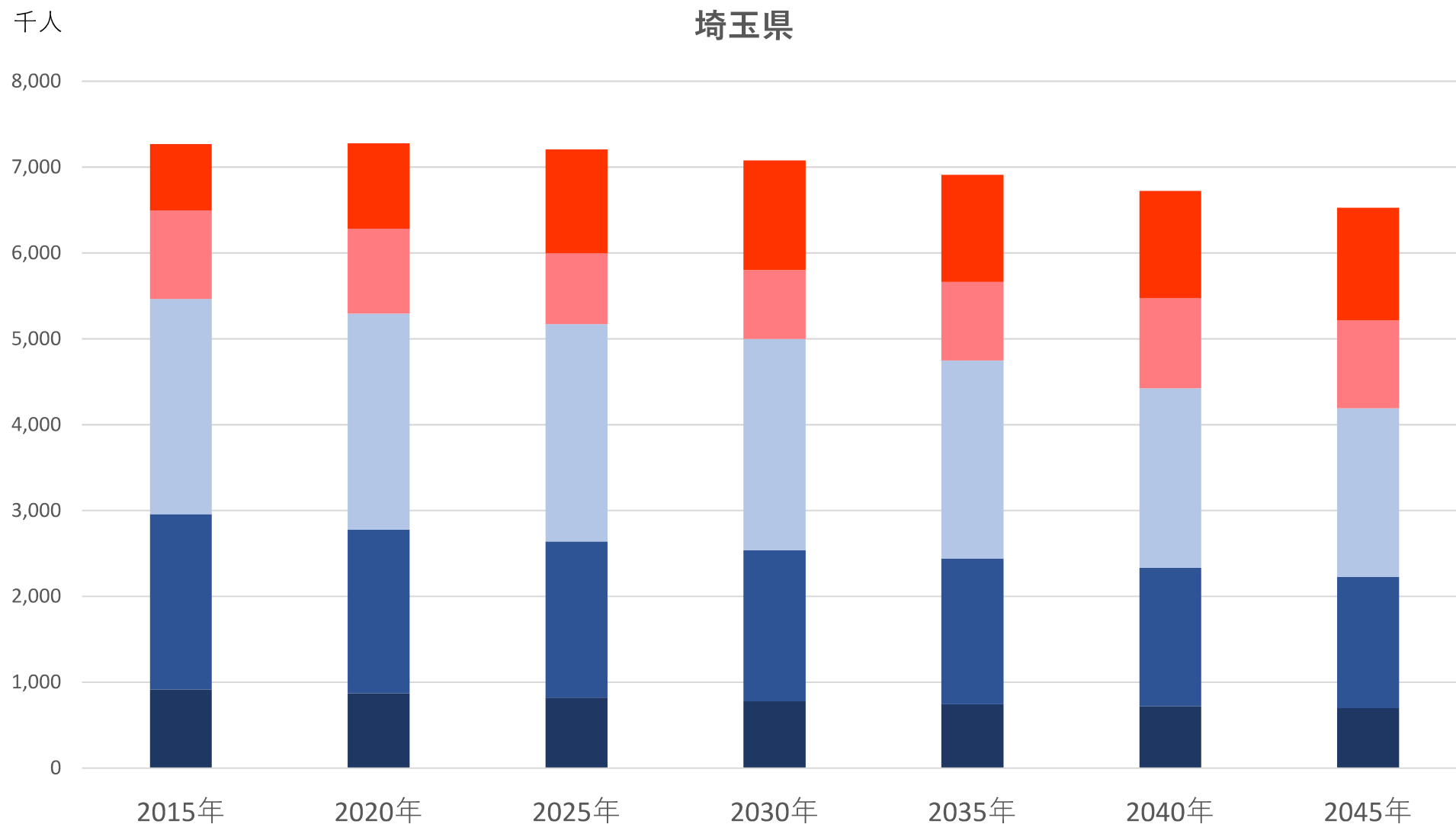
北部



秩父



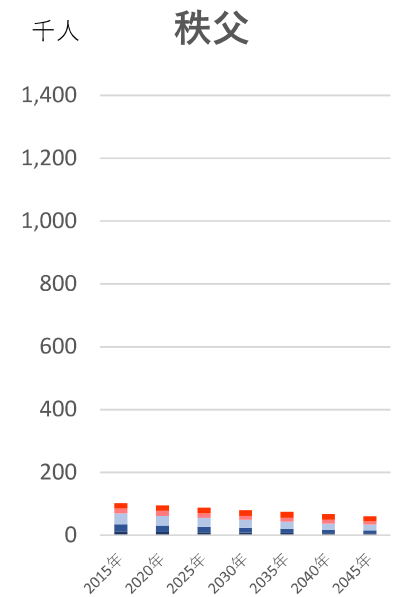
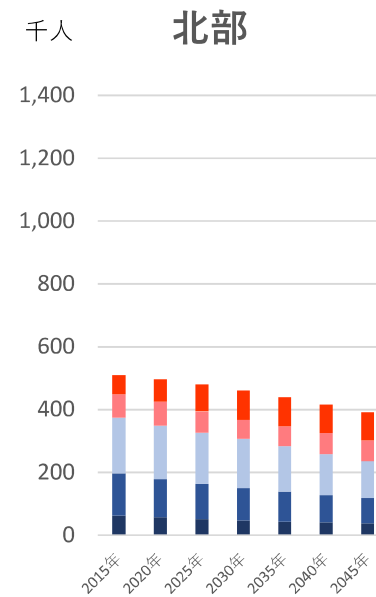
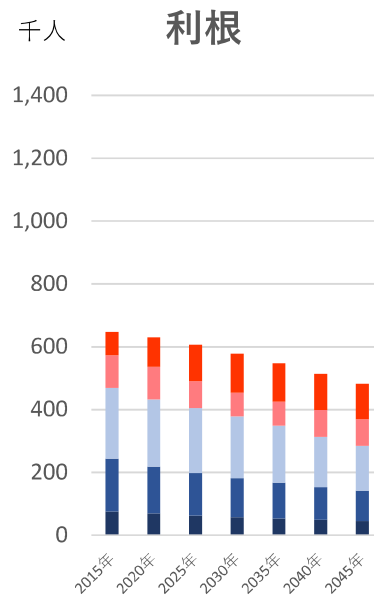
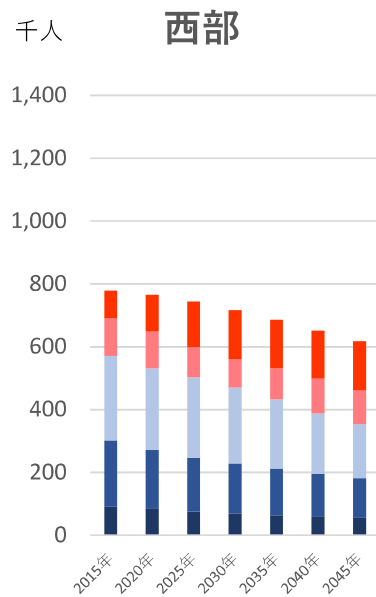
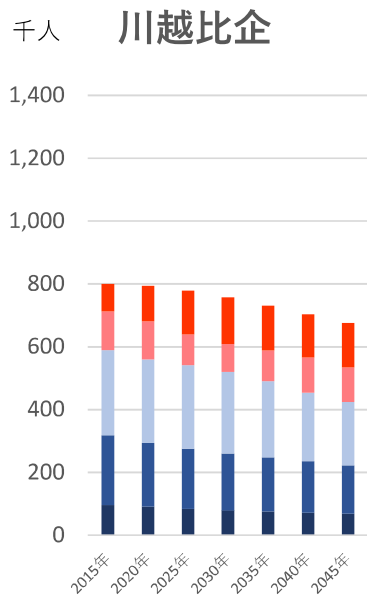
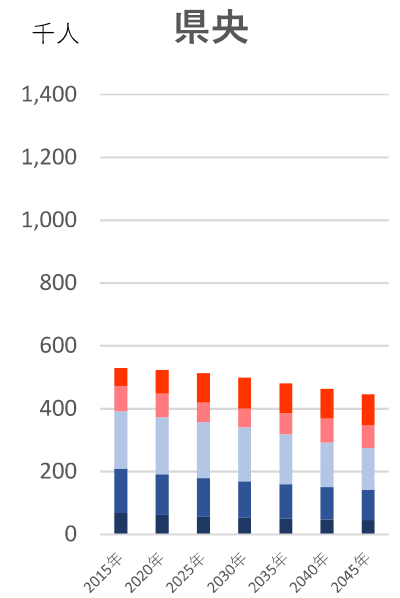
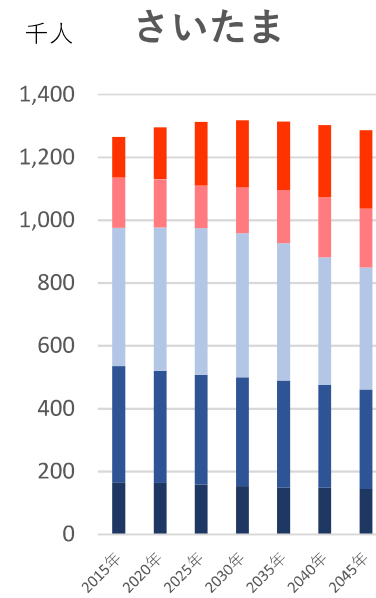
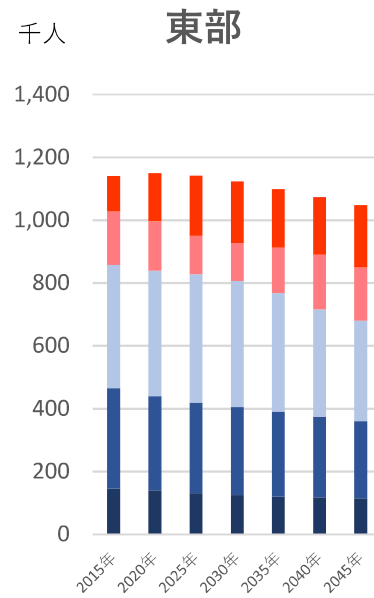
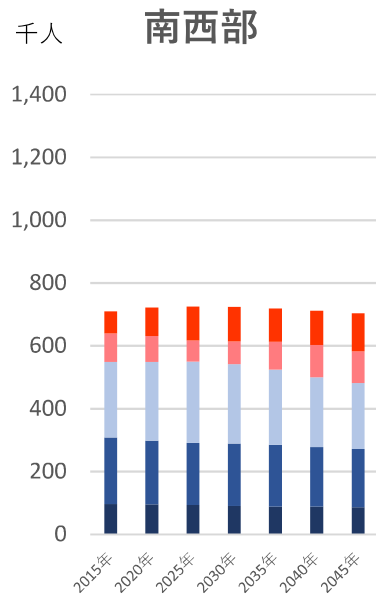
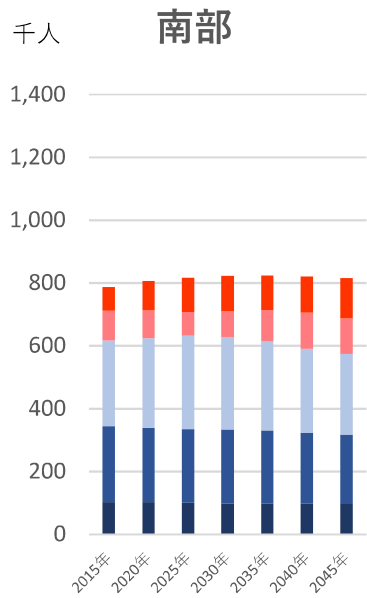
人口推計（2015年～2045年）



■年少人口（0～14歳） ■生産年齢人口1（15～39歳） ■生産年齢人口2（40～64歳） ■高齢者人口（65歳～74歳） ■後期高齢者人口（75歳以上）

※出典：国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口（平成29年）より作成

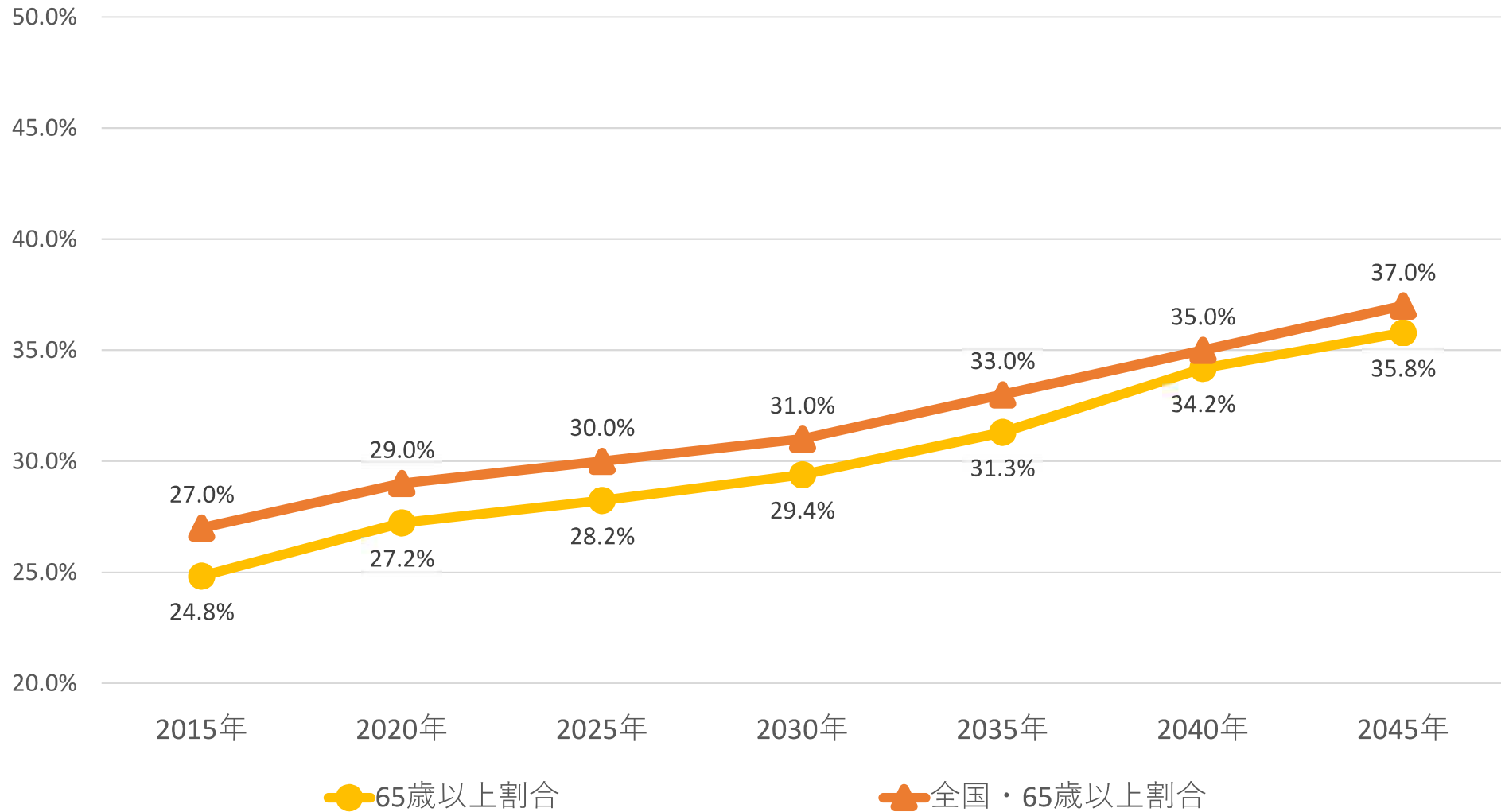
人口推計（2015年～2045年）（各圏域）



■ 年少人口（0～14歳）
 ■ 生産年齢人口1（15～39歳）
 ■ 生産年齢人口2（40～64歳）
 ■ 高齢者人口（65歳～74歳）
 ■ 後期高齢者人口（75歳以上）

高齢者割合推計（2015年～2045年）

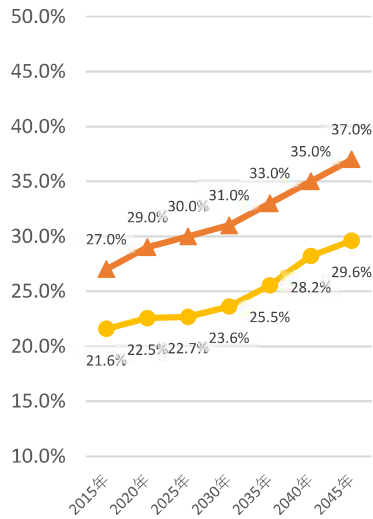
埼玉県



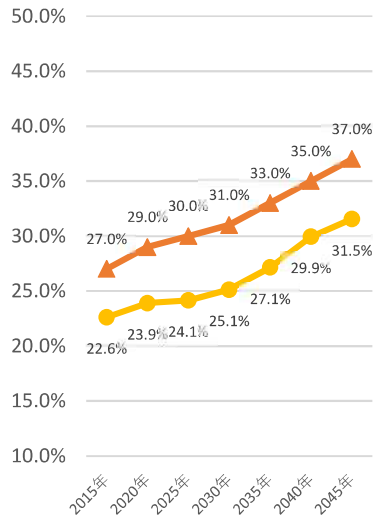
※出典：国立社会保障・人口問題研究所将来推計人口（平成29年）より作成

高齢者割合推計（2015年～2045年）（各圏域）

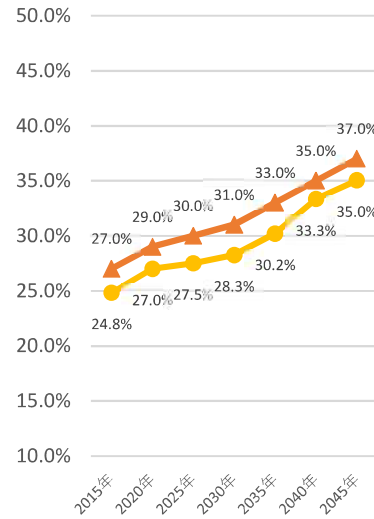
南部



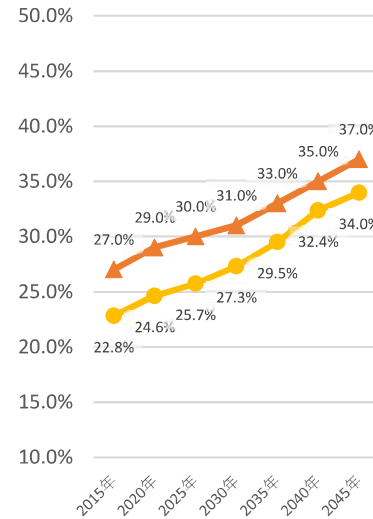
南西部



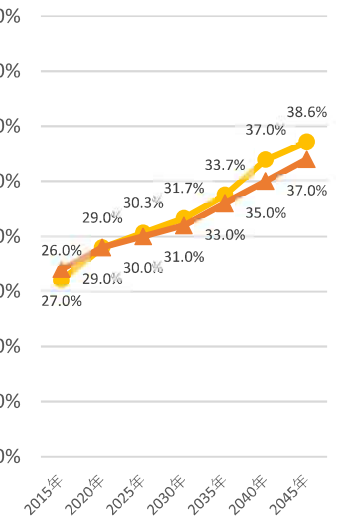
東部



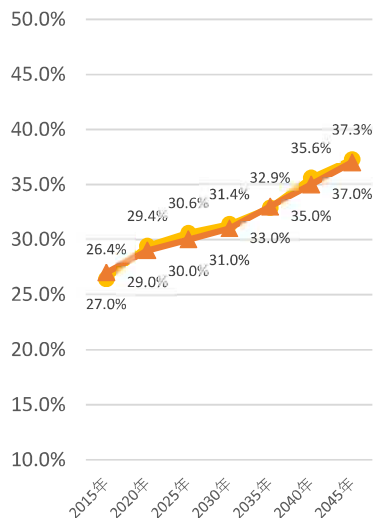
さいたま



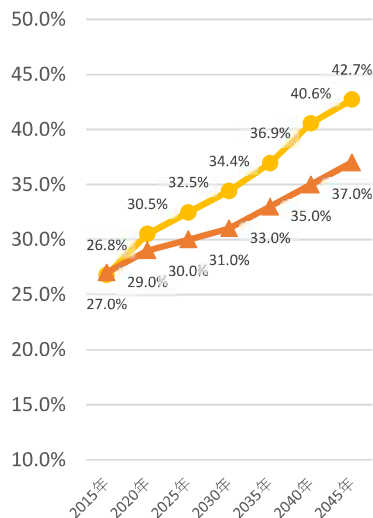
県央



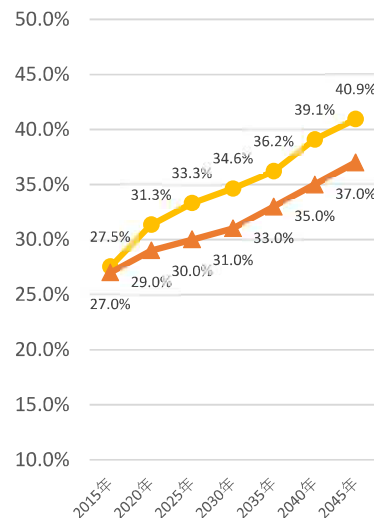
川越比企



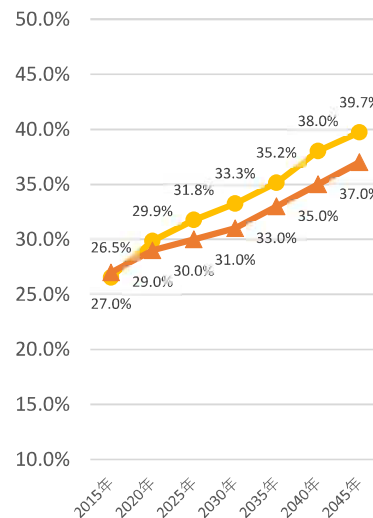
西部



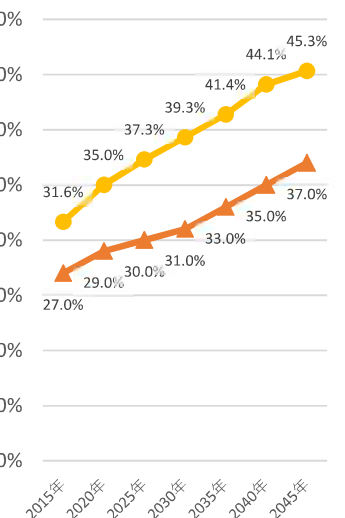
利根



北部



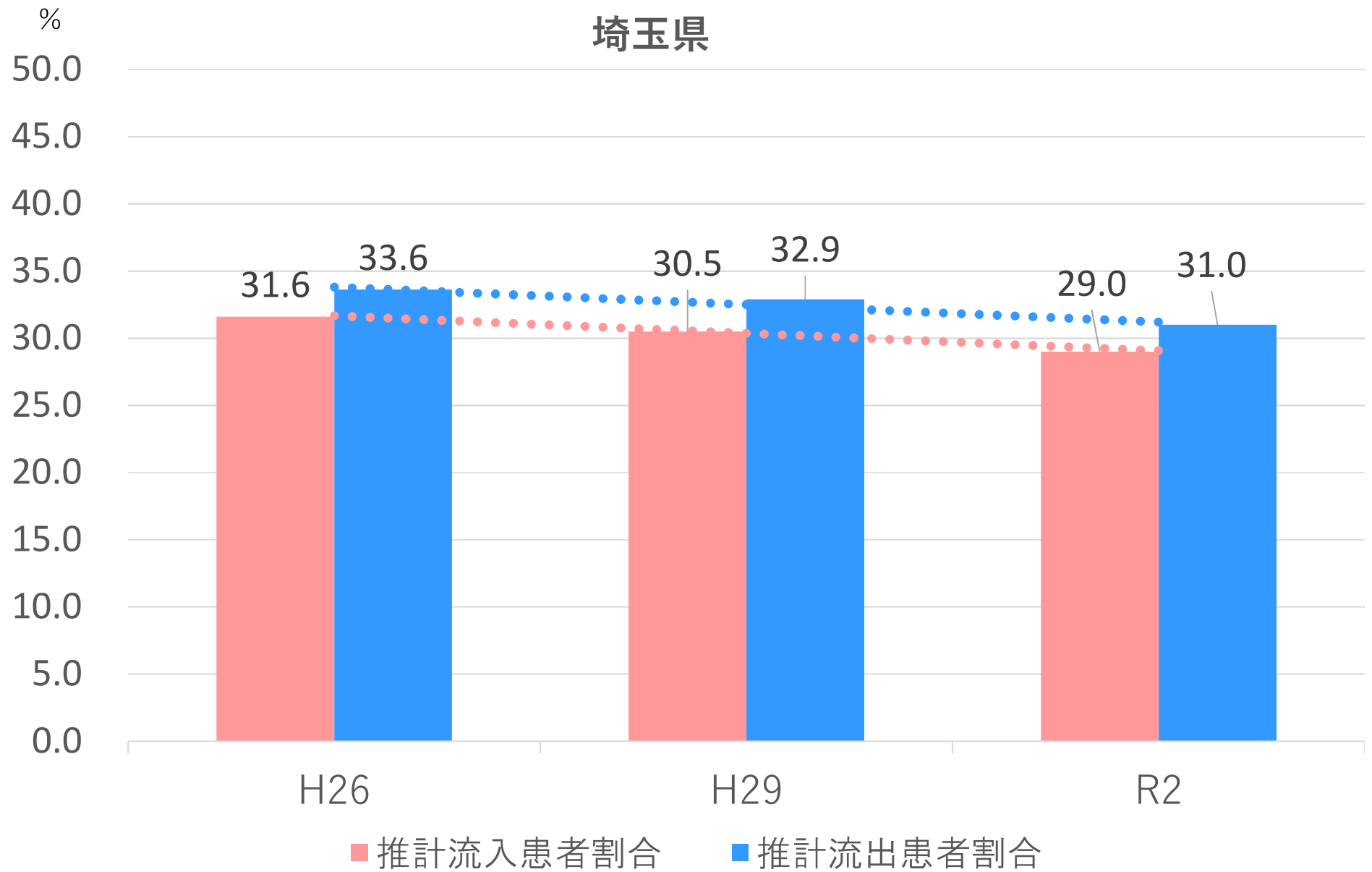
秩父



● 65歳以上割合

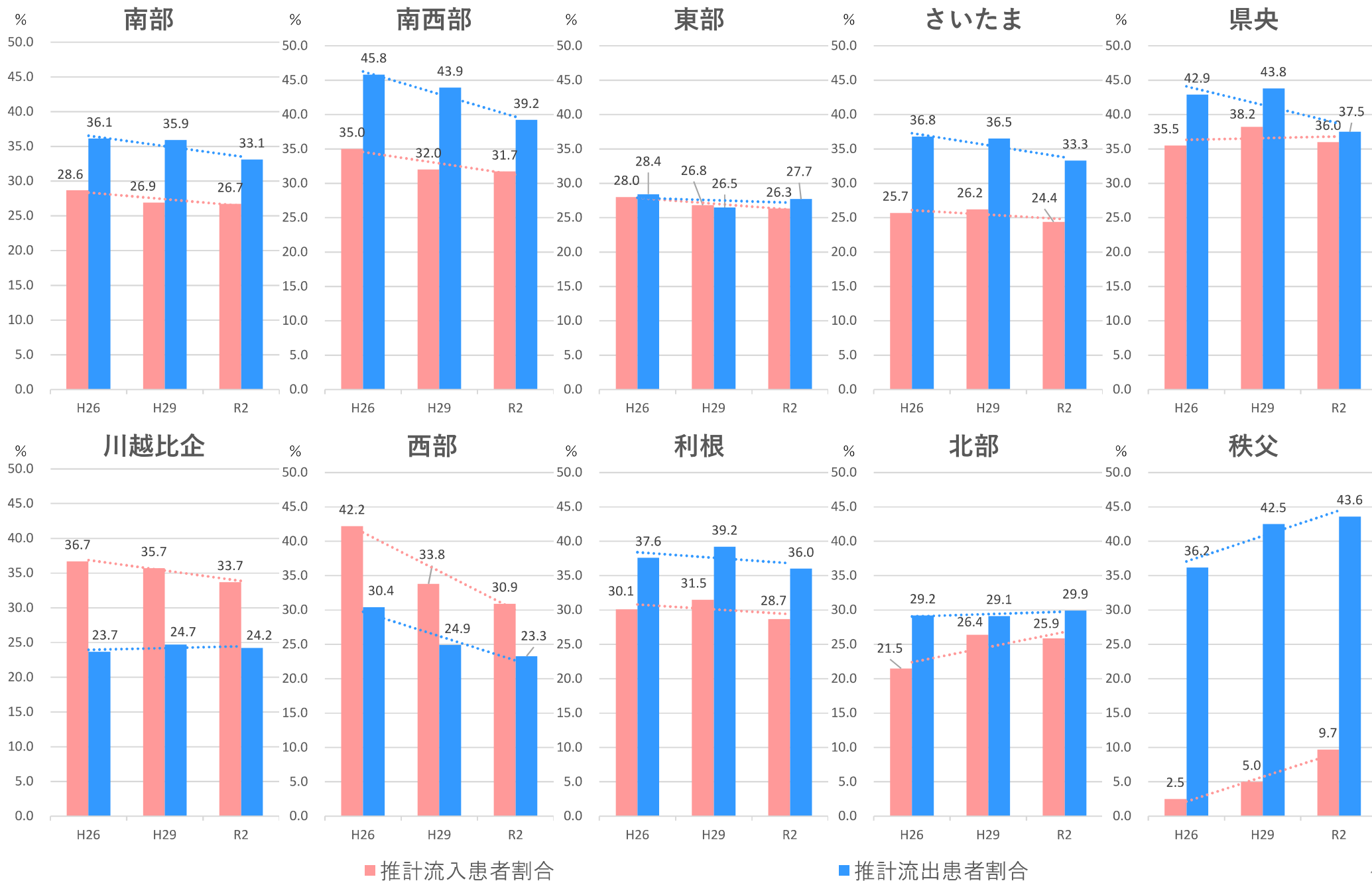
▲ 全国・65歳以上割合

患者流出入割合



※出典：患者調査より作成

患者流出入割合（各圏域）



令和3年度病床機能報告・定量基準分析結果比較【県央圏域】

